



WiiM Ultra ハイレゾ音楽ストリーマー

あなたの音楽のためのデジタルハブ

目次

1. イントロダクション	4
典型的な使用例	5
WiiM Ultra を使用するために必要な他のデバイス	6
WiiM Ultra が対応するオーディオデバイス	7
2. 箱の中身	8
3. 技術仕様	9
4. WiiM Ultra コントロール、インターフェース、およびライト	13
フロントパネルのコントロールとインターフェース	13
背面パネルのコントロールとインターフェース	15
WiiM Voice Remote	17
LED ステータスライト	19
5. 使用開始方法	20
WiiM Ultra のオーディオ出力ポートの接続	21
WiiM Ultra のオーディオ入力接続	31
12V トリガーアウトの使用	39
WiiM Ultra の電源を入れる	40
WiiM Home アプリのダウンロードとインストール	41
WiiM Ultra を WiiM Home アプリで設定する	42
WiiM Home アプリで WiiM Ultra を設定する	53
お部屋に音楽を満たす	54
6. WiiM Ultra 設定	55
オーディオ入力ソースの選択とオーディオ入力の設定	55
オーディオ出力インターフェースの選択	57
オーディオ出力設定の調整	59
サブウーファー設定の調整	61
ルーム補正	62

イコライザー (EQ)	63
7. Bluetooth 経由のオーディオ出力/入力	64
Bluetooth 経由でのオーディオ出力	64
Bluetooth 経由でのオーディオ入力	67
8. USB メディアライブラリ	68
9. 音声コントロール	69
10. お気に入りのアプリから直接制御	70
Spotify Connect	70
TIDAL Connect	71
Amazon Music Cast (Alexa Cast)	72
Google Cast オーディオ	73
DLNA	74
11. すべての音楽を 1 つのアプリで	75
12. マルチルームおよびステレオペアリング	76
WiiM マルチルーム/ステレオペアリング	76
Amazon Alexa マルチルーム	78
Google Cast オーディオデバイスとのマルチルーム	79
13. 高度な機能	80
ファームウェアの更新	80
Wi-Fi の代わりに Ethernet を使用する	80
14. FAQ とサポート	81
FAQ	81
サポート	83
15. 重要な安全指示	84
16. CE/FCC/IC/TELEC 声明	86

1. イントロダクション

WiiM では、最もシンプルで手頃な価格の Hi-Fi、ロスレスオーディオシステムを提供することを使命としています。私たちが設計する各製品は、卓越した職人技と直感的なユーザーインターフェースを備えています。

WiiM Ultra は、私たちの旗艦ミュージックストリーマーであり、オーディオエコシステムの中心的なデジタルハブとして機能します。オーディオファイルグレードのコンポーネント、豊富なオーディオ接続、鮮やかな 3.5 インチのフルカラースクリーンを備え、高解像度のストリーミング、先進的なルーム補正、スマートホーム統合を実現しています。WiiM Ultra は、ターンテーブル、テレビ、ヘッドフォン、AV レシーバー、サブウーファー、スマートスピーカー、ワイヤードまたはワイヤレスヘッドフォンなど、さまざまなデバイスとシームレスに接続でき、包括的で多用途なオーディオソリューションを提供します。

ESS Sabra ES9038 Q2M のプレミアム DAC を搭載し、業界トップクラスの低歪みと広いダイナミックレンジを実現。信号対雑音比 (SNR) は 121 dB (A-wt) 、総高調波歪みプラスノイズ (THD+N) は -116 dB で、44.1k から 192k までのサンプルレートに対応。超低ノイズクロックと最適化された電力・回路設計がこれを可能にしています。さらに、最先端の TI Burr-Brown PCM1861 ADC を搭載しており、アナログ-デジタル変換で 110 dB の SNR を達成。ターンテーブル、MP3 プレーヤー、テレビなどの入力ソースに最適です。高忠実度のヘッドフォンアンプ TPA6120A2 は、幅広いヘッドフォンに対応します。

WiiM Ultra をステレオレシーバー、アンプ、またはパワースピーカーに接続し、ユーザーフレンドリーな WiiM Home アプリや Spotify、TIDAL、Amazon Music、Google Cast 対応のアプリでコントロールできます。Echo や Google Home デバイス、Alexa アプリ、Google Home アプリを使って音声コントロールも簡単に行えます。

Echo、Google Home、他の Alexa 対応デバイス、または追加の WiiM デバイスを使って同期グループを作成し、家中で音楽をストリーミングしたり、異なる部屋で別々の曲を再生したりできます。

WiiM Ultra のスマート機能を活用し、音質と利便性を向上させて、比類のない音楽体験をお楽しみください。

典型的な使用例

WiiM Ultra は、ワイヤレスストリーミング機能とスマート機能を追加することにより、既存のオーディオシステムを強化するように設計されています。以下は、WiiM Ultra のいくつかの一般的な使用例です：

- **お気に入りのレガシーオーディオシステムをアップグレード：** もし、伝統的なステレオシステムやスピーカーがあり、それを Spotify、TIDAL、ローカル音楽ライブラリ、Google Cast、Amazon Alexa、DLNA、Roon、または WiiM エコシステムに統合したい場合、WiiM Ultra はこれらのスピーカーにワイヤレスで音楽をストリーミングすることができます。これにより、古いオーディオ機器と最新の音楽ストリーミング世界のギャップを埋めます。
- **高品質のオーディオ：** ビットパーフェクトで高解像度のオーディオフォーマットをサポートし、豊かで詳細な音を提供し、既存のオーディオシステムのリスニング体験を向上させます。
- **ストリーミングサービスと音楽ライブラリ：** WiiM Ultra は、Spotify、Amazon Music、TIDAL などのさまざまなストリーミングサービスにアクセスでき、既存のオーディオセットアップに幅広い音楽を提供します。また、コンピューター、ネットワーク接続ストレージデバイス、または USB ディスクに保存された個人の音楽ライブラリを接続してシームレスに再生することもできます。
- **ポッドキャストとインターネットラジオ：** 音楽のストリーミングに加えて、WiiM Ultra はさまざまなポッドキャストやインターネットラジオ局にアクセスできます。異なるジャンルやポッドキャスト、特定のラジオ局をブラウズして、既存のオーディオシステムで楽しむことができます。
- **マルチルームオーディオ：** WiiM Ultra は、他のサードパーティ製の人気スマートスピーカーやコンポーネント、または別の WiiM デバイスとシームレスに統合され、複数の部屋で同期した音楽再生で家全体のオーディオシステムを作成できます。
- **スマートホーム統合：** WiiM Ultra は、Amazon Alexa や Google Assistant などのプラットフォームを通じて音声コントロールをサポートしており、音楽をハンズフリーで制御したり、他のスマートホームデバイスと統合することができます。
- **ターンテーブルや CD プレーヤーの統合：** もしターンテーブルや CD プレーヤーを WiiM システムに統合したい場合、WiiM Ultra はこれらのデバイスのアナログまたはデジタル出力に接続できます。これにより、別の WiiM デバイスを介して他のスピーカーにワイヤレスで音楽をストリーミングし、家全体で音を楽しみ、すべてが同期します。

- **ホームシアター統合:** WiiM Ultra は、ホームシアターシステムと WiiM エコシステムの橋渡しとして使用できます。Ultra を AV レシーバーやサウンドバーに接続することにより、ホームシアタースピーカーにワイヤレスで音楽をストリーミングし、他の WiiM デバイスと音声再生を同期させて、統一感のあるオーディオ体験を提供します。

WiiM Ultra を使用するために必要な他のデバイス

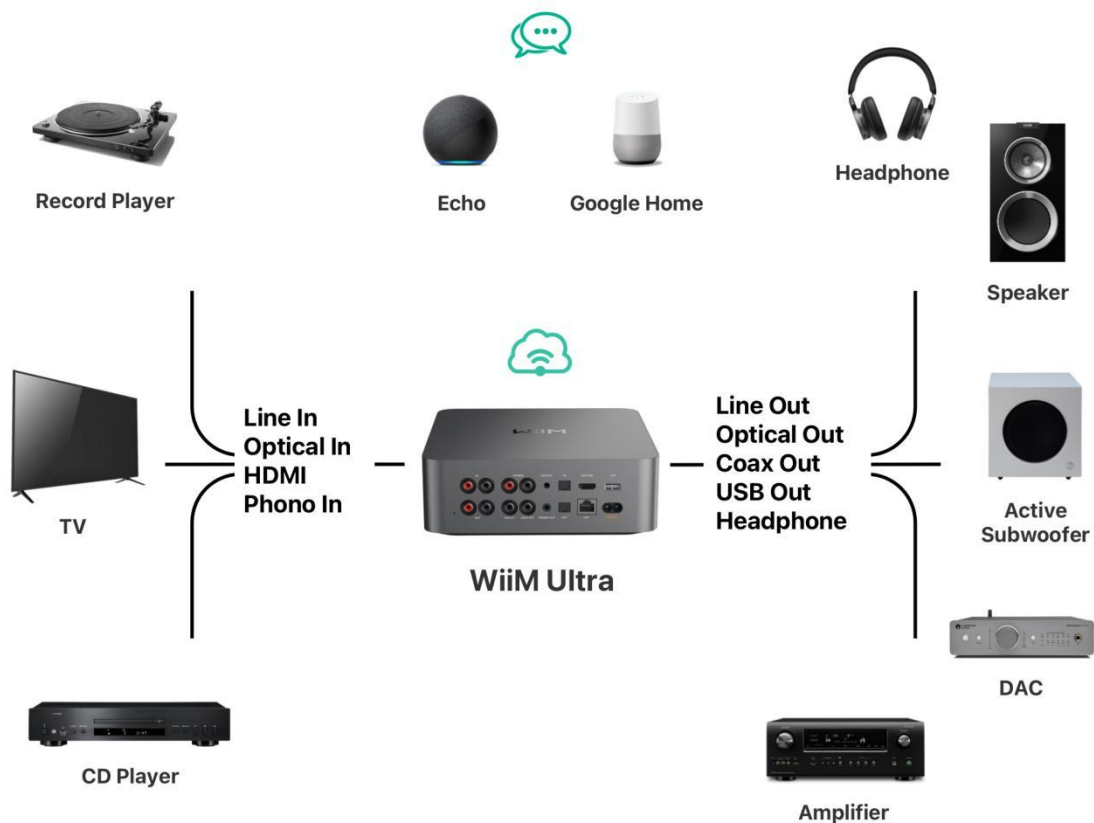
WiiM Ultra を使用するには、いくつかの必須デバイスとコンポーネントが必要です。以下は必要なもののリストです:

- **オーディオシステム:** WiiM Ultra は、既存のオーディオシステムに接続するように設計されています。これには、ステレオシステム、電源付きスピーカー、アンプ/レシーバー付きのパッシブスピーカー、または AV レシーバーやサウンドバーを備えたホームシアターシステムが含まれます。適切なオーディオシステムが整っていることを確認してください。
- **Wi-Fi ネットワーク:** WiiM Ultra は、機能するために安定した Wi-Fi ネットワーク接続を必要とします。WiiM Ultra を設置する予定の場所に信頼できる Wi-Fi ネットワークがあることを確認してください。セットアッププロセス中に Wi-Fi ネットワークの資格情報が必要になります。
- **スマートフォンまたはタブレット:** WiiM Ultra の初期設定、構成、操作には、WiiM Home アプリがインストールされた互換性のあるスマートフォンまたはタブレット（iOS または Android）が必要です。
- **電源:** WiiM Ultra は、付属の電源ケーブルを使用して電源に接続する必要があります。デバイスを電源に供給するための電気コンセントが近くにあることを確認してください。
- **イーサネットケーブル（オプション）:** WiiM Ultra は主に Wi-Fi ネットワークに接続しますが、イーサネットポートも備えています。より安定した接続を希望する場合は、イーサネットケーブルを使用して WiiM Ultra をルーターやネットワークスイッチに直接接続できます。

これらは WiiM Ultra を使用するために必要な主要コンポーネントです。Ultra と統合するオーディオシステム、安定した Wi-Fi または有線ネットワーク、およびセットアップと制御のための WiiM Home アプリがインストールされた互換性のあるデバイスを準備することが重要です。

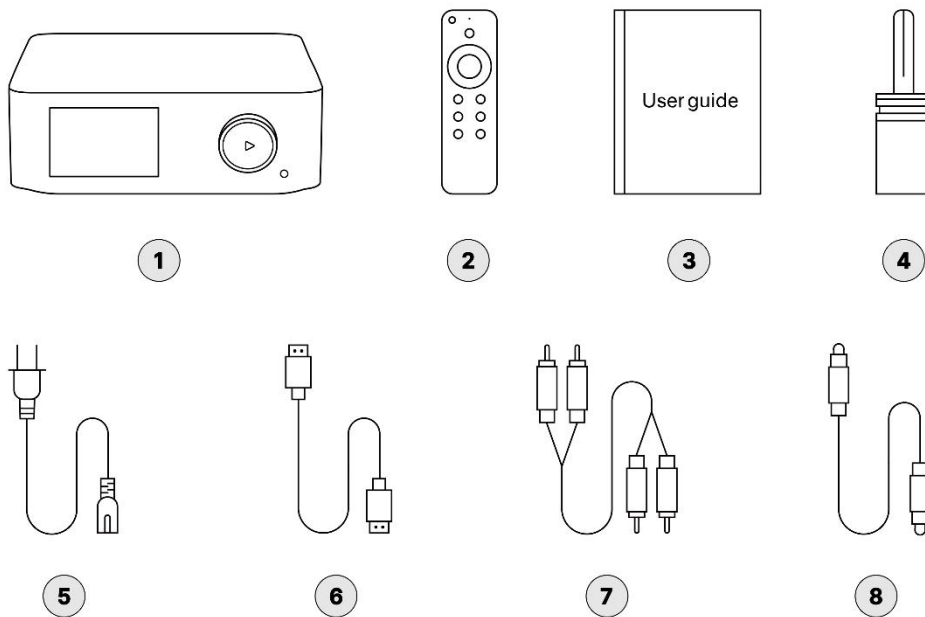
WiiM Ultra が対応するオーディオデバイス

WiiM Ultra は、オーディオソースデバイス、スマートスピーカー、その他の従来型ステレオシステム、DAC、アンプ、スピーカー、サウンドバーなどと連携できます。オーディオソースデバイスには、テレビ、レコードプレーヤー、MP3 プレーヤーが含まれます。以下のブロックダイアグラムは、WiiM Ultra とオーディオシステムをどのように接続できるかを示しています。



2. 箱の中身

- | | | |
|----|----------------------|-----|
| 1. | WiiM Ultra | x 1 |
| 2. | Bluetooth 音声リモコン | x 1 |
| 3. | クイックスタートガイド | x 1 |
| 4. | フォノグラウンドアダプター | x 1 |
| 5. | クイックスタートガイド (1.5m) | x 1 |
| 6. | HDMI ケーブル (1.5m) | x 1 |
| 7. | RCA オーディオケーブル (1.5m) | x 1 |
| 8. | 光オーディオケーブル (1.5m) | x 1 |



3. 技術仕様

カテゴリー	仕様
オーディオ増幅	-
主な目的	アンプまたは電源付きスピーカーに接続してストリーミング
サブウーファーとペアリング	はい
USB ポート (ストレージ/オーディオ出力)	はい
無線接続	Wi-Fi 6 (ソフトウェアアップデートで Wi-Fi 6E にアップグレード可能)
Bluetooth	BT 5.3
Ethernet	はい
DAC IC	ESS ES9038 Q2M
アナログ出力 SNR	121 dB
THD+N (アナログ出力)	-116 dB (0.00015%)
アナログ入力 (ADC)	最大 192k、24 ビット
Google Cast オーディオ	はい
Nest スピーカーおよびディスプレイとグループ化	はい
Echo スピーカーおよびディスプレイとグループ化	はい
UHD 対応の Alexa マルチルーム	はい

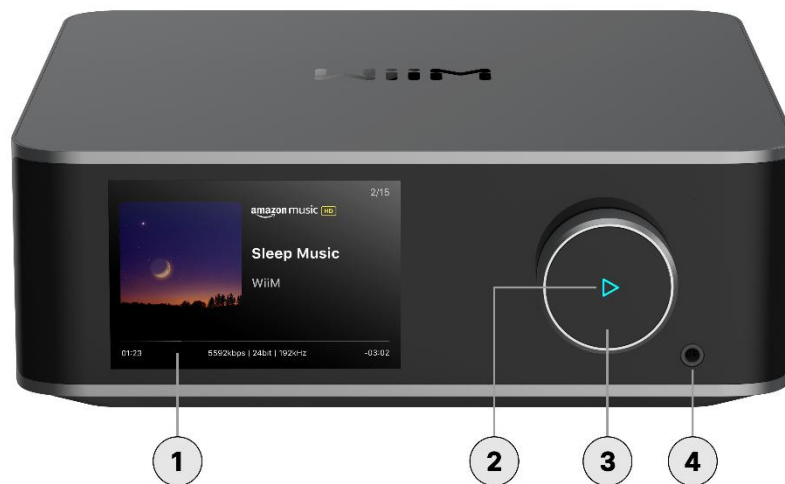
HomePods とグループ化	いいえ
Alexa と互換性あり	はい
Google と互換性あり	はい
Siri と互換性あり	いいえ
WiiM デバイスとグループ化	はい
AirPlay 2	いいえ
双方向 Bluetooth	はい
Roon 対応	はい
DLNA	はい
Spotify Connect & TIDAL Connect	はい
ギャップレス再生	はい
10 バンドグラフィックおよびパラメトリック EQ	はい
WiiM 音楽ストリーミングプラットフォーム	はい
CPU	クアッドコア A53
DRAM	512 MB
フラッシュ	512 MB
オーディオ入力ポート	HDMI ARC: ● 最大 192kHz/24 ビット. ● ステレオ PCM およびドルビーデジタルに対応、DTS には対応し

	ません.
	光デジタル入力 (最大 192kHz/24 ビット)
	ライン入力: ● 2 Vrms ● アナログ信号を ADC でデジタルに変換 (最大 192kHz/24 ビット)
	フォノ入力 (MM/MC): ● ゲイン: 41dB MM / 59dB MC ● MM: THD+N -75dB、SNR 76dB@5mV ● MC: THD+N -58dB、SNR 56dB@0.5mV ● RIAA 精度: < ±0.5dB / 20Hz - 20kHz
	USB-ディスク
オーディオ出力ポート	ライン出力: ● 最大出力: 2.1V RMS ● SNR: 121 dB (A-wt) ● THD+N (1 kHz) : 0.00018% (-115 dB) 44.1k~192k 対応 ● FR 曲線: +/- 0.05 dB
	光出力 (最大 192kHz/24 ビット)
	COAX 出力 (最大 192kHz/24 ビット)
	USB 出力: ● 最大 192kHz/24 ビット ● UAC 2.0 ● DC 5V/1.5A 出力
	注: 現在、USB 出力ポートはサブウーファー出力 (Sub Out) に対応して

	いません。この機能は将来のファームウェアアップデートでサポートされる予定です。
	サブウーファー出力 (2.0 Vrms)
	ヘッドフォン出力: ● 300 オーム: SNR (119 dB) 、THD+N (-99 dB) ● 32 オーム: SNR (119 dB) 、THD+N (-92 dB)
外部 USB ストレージ	個人メディアライブラリにアクセスし、他の WiiM および DLNA デバイスのメディアサーバーとして使用できます。FAT32、NTFS、および EXT4 ファイルシステムをサポートしています。
12V トリガー出力	● 3.5mm ポート ● 耐荷重容量: DC 12V/200mA
LED	4 色ステータス LED - 赤、緑、青、白
コントロール	音量ノブ、再生/一時停止、設定など
重量	3.13 lbs (1.42 kg)
寸法	8.3 インチ x 7.87 インチ x 2.83 インチ (211 mm x 200 mm x 72 mm)
電源入力	100-240V AC 入力、50/60 Hz、最大 0.5A

4. WiiM Ultra コントロール、インターフェース、およびライト

フロントパネルのコントロールとインターフェース



前面パネルの各番号付きコントロールまたはインターフェースについて、以下に説明します：

- | | | |
|-------|--------------------|---|
| ① | LCD ディスプレイ | 再生状況を表示し、WiiM Ultra の操作を制御します。 |
| <hr/> | | |
| ② | LED インジケーター | WiiM Ultra の動作状態を表示する 4 色 LED (RGBW) インジケーター。
詳細については、 LED ステータスライト を参照してください。 |

押すと:

- 再生/一時停止
- Wi-Fi 設定または Bluetooth ペアリング (3 秒間長押し)
- 工場出荷設定にリセット (10 秒間長押し)

3**ボリュームノブ****時計回りに回す:** 音量を上げる**反時計回りに回す:** 音量を下げる**4****ヘッドフォン出力**

外部ヘッドフォンに接続します。

背面パネルのコントロールとインターフェース



背面パネルの各番号付きコントロールまたはインターフェースの説明は以下の通りです：

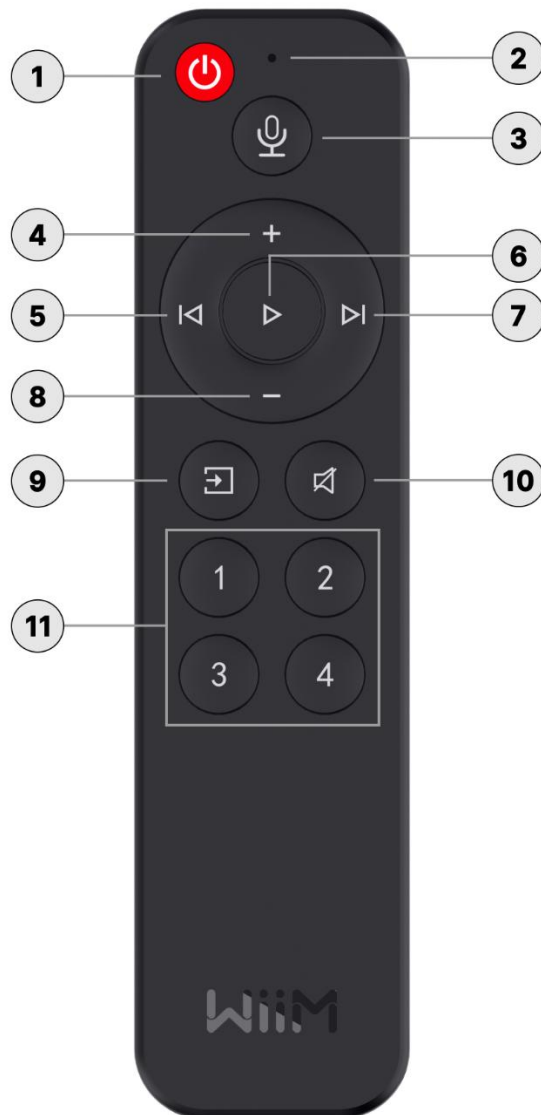
①	ライン入力	CD プレーヤー、オーディオプレーヤー、テレビなどの外部オーディオソースに接続してアナログオーディオ入力を受ける。
②	フォノ入力	ターンテーブル用の専用入力。
③	グラウンド	ターンテーブルのグラウンドを接続し、ハムやノイズを減らすための接続ポート。
④	光デジタル入力	テレビや PC などの外部オーディオソースに接続してデジタルオーディオ入力を受ける。最大 192 kHz/24 ビットのオーディオ入力をサポート。
⑤	HDMI ARC	テレビへのオーディオ入力接続。 ステレオ PCM、Dolby Digital（DTS はサポートしていません）をサポート。

⑥	USB	USB IN: USB ストレージデバイスを接続してオーディオフィールを直接再生可能。
		注: <i>USB オーディオ入力はサポートされていません。</i>
⑦	ライン出力	USB OUT: 高品質なオーディオを外部 DAC やその他の USB オーディオ入力を持つデバイスに出力。
		注: <i>USB IN と USB OUT を同時に接続するには、USB ハブを使用してください。</i>
⑧	サブウーファー出力	アナログオーディオを出力し、外部アンプ、パワースピーカー、オーディオレシーバーに接続するのに最適。
⑨	同軸デジタル出力	パワードサブウーファーに接続し、2.0 Vrms の信号を出力。
⑩	12V トリガー出力	低ジッターで 192 kHz/24 ビットのデジタルオーディオを出力。
⑪	光デュー 35 タル出力	アンプへのケーブル接続用の 3.5mm ポート、オートパワーコントロール用。
		負荷耐性: DC 12V/200mA 注: <i>アンプのユーザーガイドを参照し、12V トリガー入力の使用方法を確認してください。</i>
⑫	LAN	低ジッターで 192 kHz/24 ビットの高品質デジタルオーディオを出力。
⑬	電源入力	10/100Mbps イーサネットポート
		100-240V AC 入力、50/60Hz、0.5A 最大

WiiM Voice Remote

提供された WiiM Voice Remote を使用して、WiiM Ultra を簡単に制御できます。

詳細な手順については、[「WiiM Voice Remote の設定方法」](#)を参照してください。



WiiM Voice Remote の各番号付きコントロールは、以下に説明されています。

- ① **スタンバイ** 押して WiiM Ultra をスタンバイモードにする。

②	マイク	音声コマンドをキャプチャする
③	音声コントロール	長押しして音声コマンドを発信する。
④	音量アップ	押してスピーカーの音量を上げる。
⑤	前の曲	押して前の再生に戻るか、現在の再生を再開する。
⑥	再生/一時停止	押して現在の再生を開始または一時停止する。
⑦	次の曲	押して次の再生にスキップする。
⑧	音量ダウン	押してスピーカーの音量を下げる。
⑨	ソース切替	押して入力ソースを変更する。
⑩	ミュート/ミュート解除	押してスピーカーをミュートまたはミュート解除する。
⑪	プリセットショートカット	ボタン 1~4 を押して対応するプリセットを再生する。

LED ステータスライト

LED ステータスライト		状態
白色の高速点滅		起動中
白色の遅い点滅		OOBE/セットアップ準備完了
緑色の遅い点滅		Bluetooth ペアリング準備完了
白色と緑色の高速点滅		Wi-Fi 接続中
白色（点灯）		Wi-Fi 接続完了
緑色（点灯）		Bluetooth モード、ペアリング済み
薄い緑色（点灯）		ラインインモード
オレンジ色（点灯）		オプティカルインモード
白色と緑色の遅い点滅		OTA アップデート中
白色と赤色の遅い点滅		工場出荷設定にリセット中
黄色（点灯）		ネットワークなし
赤色の遅い点滅		故障エラー

5. 使用開始方法

WiiM Ultra を使用する前に、以下の手順で設定を行ってください:

1. WiiM Ultra をオーディオデバイスに接続します。
2. WiiM Ultra の電源を入れます。
3. WiiM Home アプリをモバイルデバイスにダウンロードしてインストールします。
4. WiiM Home アプリを使用して、WiiM Ultra をネットワークに接続します。
5. WiiM Home アプリで WiiM Ultra を設定して、お好みに合わせます。

これらの手順を完了すると、WiiM Ultra が使用可能になります。以下のサブチャプターでは、それぞれの手順に関する詳細な説明を提供します。

WiiM Ultra のオーディオ出力ポートの接続

WiiM Ultra は、DAC、アンプ、ヘッドフォン、ステレオレシーバー、サブウーファー、パワードスピーカーに接続するための 6 つの異なるオーディオ出力インターフェースを提供します。これには次のものが含まれます:

- [アナログラインアウト](#)
- [デジタルオプティカルアウト](#)
- [COAX アウト](#)
- [USB アウト](#)
- [サブアウト](#)
- [ヘッドフォンアウト](#)

上記の物理的なインターフェースを通じたオーディオ出力に加えて、WiiM Ultra は Bluetooth 経由でもオーディオ出力が可能です。詳細な手順については、[Bluetooth Out 経由のオーディオ出力](#) をご覧ください。

注記:

- WiiM Ultra は、オーディオ出力をこれらのインターフェースのうち 1 つにのみ出力します、**サブアウト**を除きます。
- 適切なオーディオ出力ポートの選択が非常に重要です。誤った選択をすると、音声出力されないことがあります。
- ビットパーフェクトなオーディオ出力には、デジタルオーディオ出力を選択し、WiiM Home アプリのデバイス設定で**固定ボリューム出力**を有効にし、EQ とモノラルオーディオを無効にすることをお勧めします。
- システムのボリュームを制御する方法は 2 通りあります:
 - *WiiM Ultra* で**固定ボリューム出力**を設定した場合、AV レシーバーまたはアンプから直接ボリュームを制御します。
 - *WiiM Home* アプリを使ってボリュームを制御しますが、**固定ボリューム出力**を無効にすることを確認してください。(推奨方法)

シナリオ 1: ラインアウト (パワードスピーカー、アンプ、AV レシーバー)

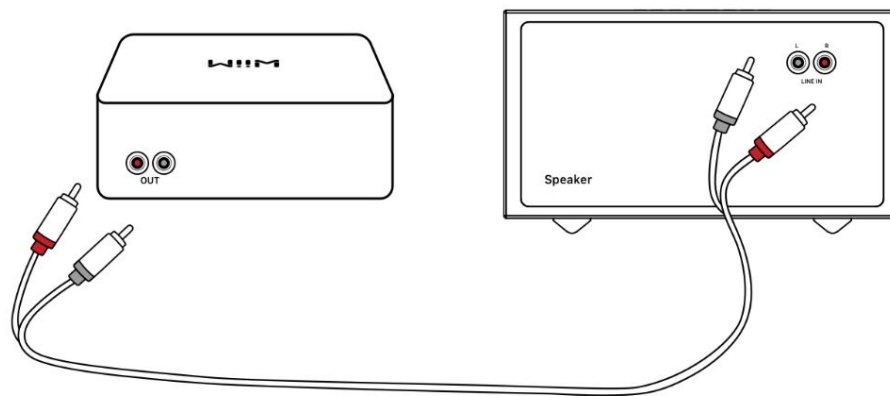
WiiM Ultra の**ラインアウト**インターフェースは、通常、外部オーディオ機器、例えば、パワードスピーカー、アンプ、AV レシーバーなどに接続して、高品質なアナログオーディオ再生を出力するために使用されます。

ケーブル要件: 以下の RCA ステレオケーブルを使用してください:



ケーブル接続手順:

1. ケーブルの一端にある赤と白の RCA コネクタを WiiM Ultra の対応する**ラインアウト**ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端を外部デバイスの対応する**ラインイン**ポートに接続します。



シナリオ 2: オプティカルアウト (サウンドバー、DAC、AV レシーバー)

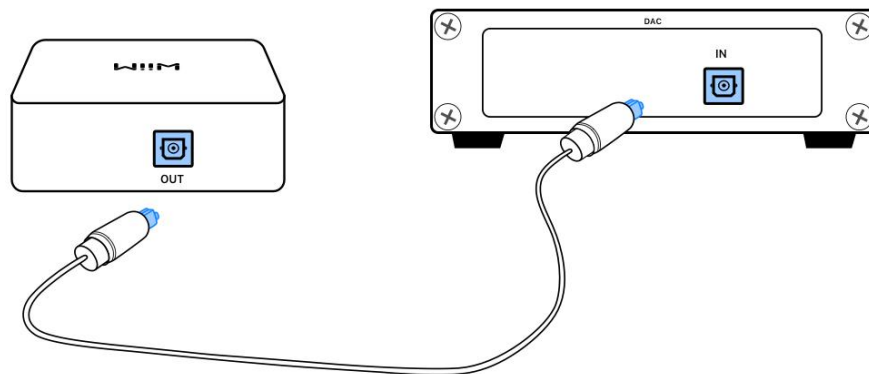
WiiM Ultra の**オプティカルアウト**インターフェースは、通常、外部デバイス（例：サウンドバー、DAC、AV レシーバー）に接続して、デジタルオーディオ再生を出力するために使用されます。

ケーブル要件: 以下の TOSLINK オプティカルケーブルを使用してください:



ケーブル接続手順:

1. ケーブルの一端を WiiM Ultra の**オプティカルアウト**ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端を外部デバイスの**オプティカルイン**ポートに接続します。



シナリオ 3: COAX アウト (DAC、AV レシーバー、アンプ)

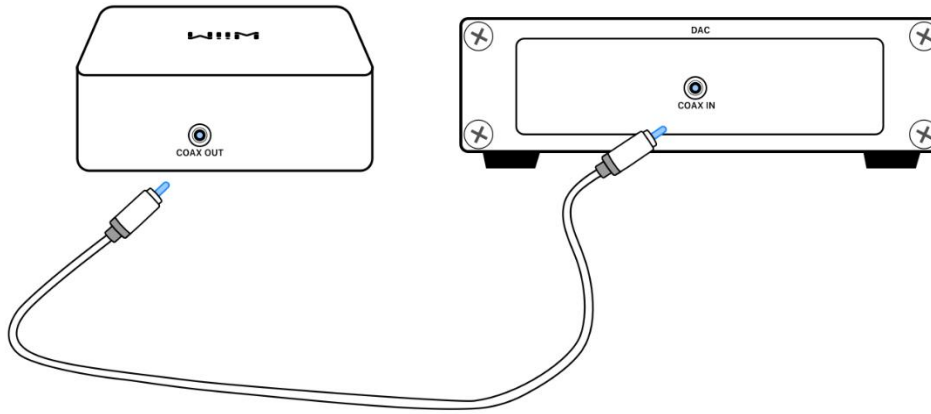
WiiM Ultra の **COAX アウト** インターフェースは、通常、コアキシャル入力をサポートする外部デバイス（例：DAC、AV レシーバー、アンプ）に接続して使用されます。

ケーブル要件: 以下のコアキシャルデジタルオーディオケーブルを使用してください:



ケーブル接続手順:

1. コアキシャルケーブルの一端を WiiM Ultra の **COAX アウト**ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端を外部デバイスの **COAX インポート**に接続します。



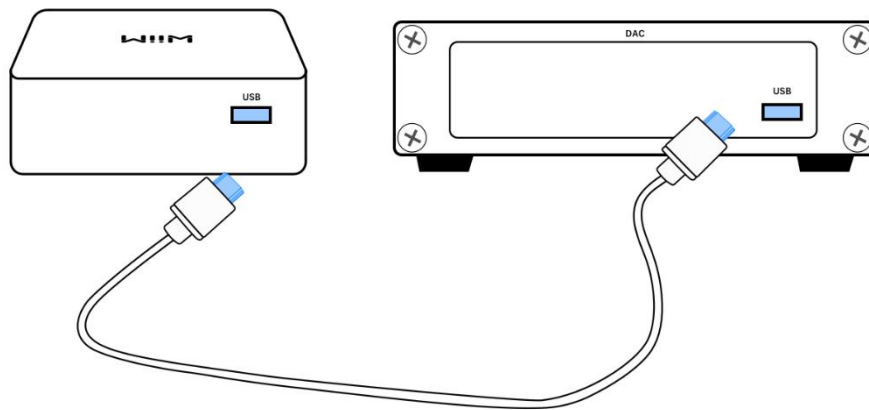
シナリオ 4: USB アウト (DAC またはアンプ)

WiiM Ultra の **USB アウト**ポートは、USB オーディオ入力をサポートする外部デバイス、例えば DAC やアンプに接続するために使用されます。

ケーブル要件: USB ケーブルを使用します。

ケーブル接続手順:

1. USB ケーブルの一端を WiiM Ultra の **USB** ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端を DAC またはアンプの **USB** 入力ポートに接続します。



シナリオ 5: サブウーファー アウト (パワードサブウーファー)

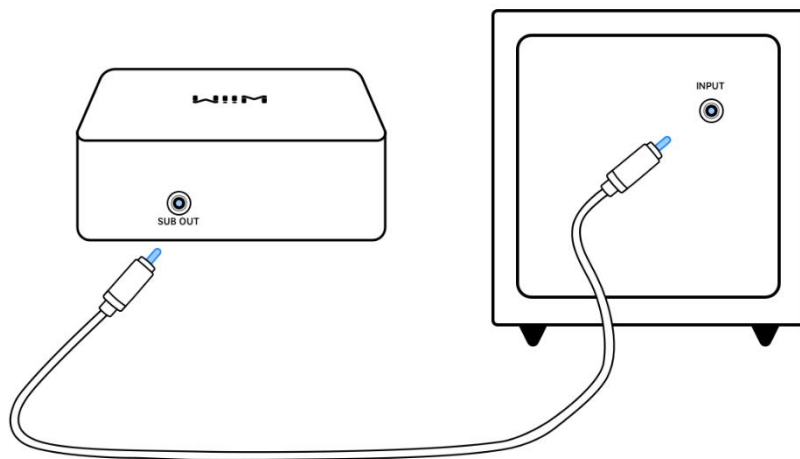
サブウーファー アウトインターフェースは、パワードサブウーファーに接続して、低音を強化するために使用されます。

ケーブル要件: 以下の RCA モノケーブルを使用します。



ケーブル接続手順:

1. RCA ケーブルの一端を WiiM Ultra の**サブウーファー アウト**ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端をパワードサブウーファーの入力ポートに接続します。サブウーファーに RCA 入力端子が 2 つある場合は、「**LFE**」または「**Mono**」と記載された方を選択します。



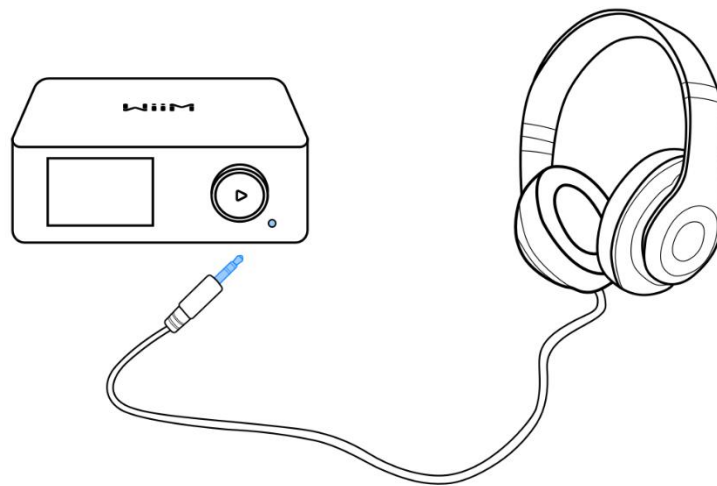
シナリオ 6: ヘッドフォン アウト (ヘッドフォン)

WiiM Ultra のヘッドフォン アウトポートは、ヘッドフォンに接続されます。

ケーブル要件: 3.5mm ステレオオーディオケーブルを使用します。

ケーブル接続手順:

1. 3.5mm オーディオケーブルを WiiM Ultra のヘッドフォン アウトポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端をヘッドフォンの入力ポートに接続します。



WiiM Ultra のオーディオ入力接続

WiiM Ultra には、次の 4 つの異なるオーディオ入力インターフェースがあります：

- [アナログ ライン入力](#)
- [デジタル光入力 \(TOSLINK\)](#)
- [HDMI ARC](#)
- [フォノ入力](#)

WiiM Ultra は、プリアンプとネットワークオーディオ送信機能を備えており、Wi-Fi または Ethernet を通じて動作します。CD プレーヤー、ターンテーブル、TV、PC などのソースからアナログオーディオ入力を、他の WiiM デバイスに個別または複数組み合わせでストリーミングすることができます。

上記の物理的な入力インターフェースに加えて、外部デバイス（例：スマートフォンやタブレット）から WiiM Ultra へ Bluetooth 経由でオーディオをストリーミングすることも可能です。詳細な手順については、「[Bluetooth 経由でのオーディオ入力](#)」をご覧ください。

シナリオ 1: アナログ ライン入力 オーディオソース入力（CD プレーヤー、内蔵プリアンプ付きターンテーブル、または PC）

WiiM Ultra の**ラインイン**インターフェースは、通常、CD プレーヤー、内蔵プリアンプ付きターンテーブル、または PC に接続してアナログオーディオ入力を受信するために使用されます。

ケーブル要求: 以下の 2 種類のケーブルのいずれかを使用できます。

- RCA-to-RCA ケーブル:

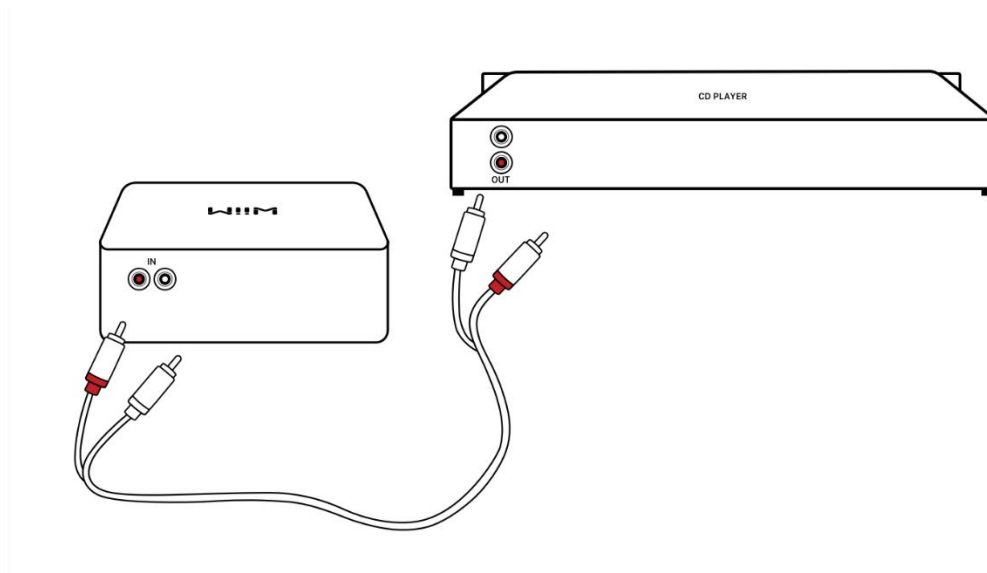


- AUX-to-RCA ケーブル:



ケーブル接続手順:

1. ケーブルの一端の RCA コネクタを WiiM Ultra の**ラインイン**ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端をオーディオソース（CD プレーヤー、ターンテーブル、TV、または PC）の **AUX** または **ラインアウト**ポートに接続します。



シナリオ 2: 光入力オーディオソース入力（TV または PC）

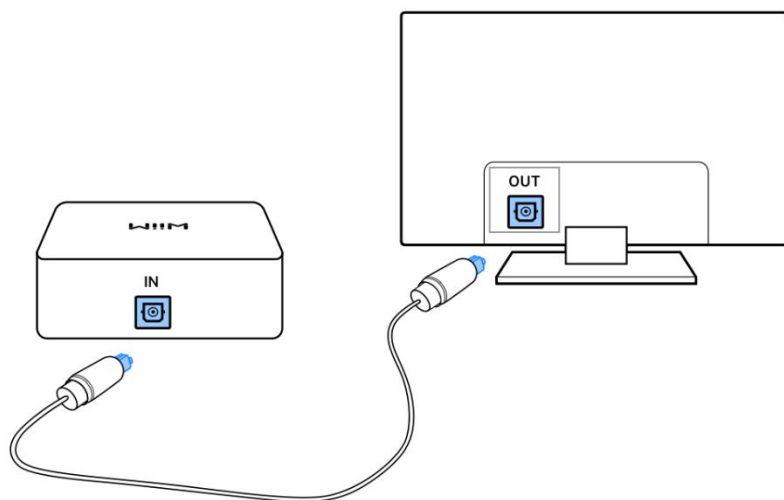
WiiM Ultra の**光入力インターフェース**は、通常、TV または PC に接続してオーディオ入力を受信するために使用されます。

ケーブル要求: 以下の TOSLINK 光ケーブルを使用します:



ケーブル接続手順

1. TOSLINK ケーブルの一端を WiiM Ultra の**光入力ポート**に接続します。
2. ケーブルのもう一端を TV または PC の**光出力ポート**に接続します。



シナリオ 3: HDMI ARC オーディオソース入力 (TV)

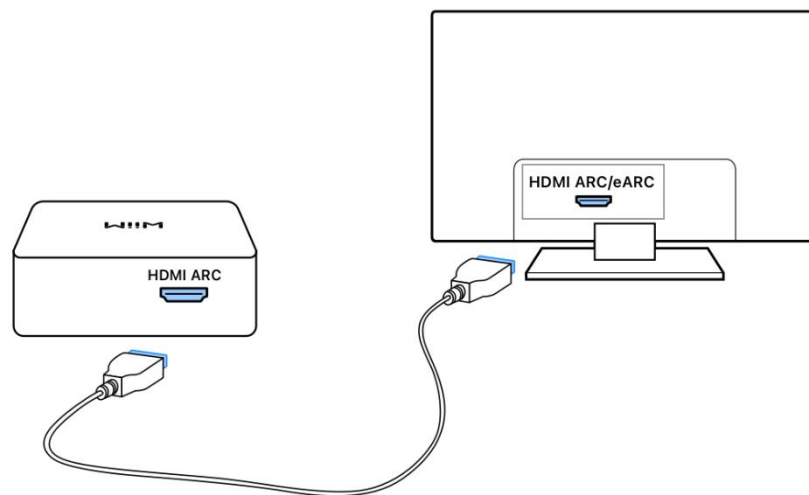
WiiM Ultra の **HDMI ARC** インターフェースは、通常、TV に接続してオーディオ入力を受信するために使用されます。

ケーブル要求: 以下の HDMI ケーブルを使用します:



ケーブル接続手順

1. HDMI ケーブルの一端を WiiM Ultra の **HDMI ARC** ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端を TV の **HDMI ARC/eARC** ポートに接続します。



シナリオ 4: フォノ入力オーディオソース入力（ターンテーブル）

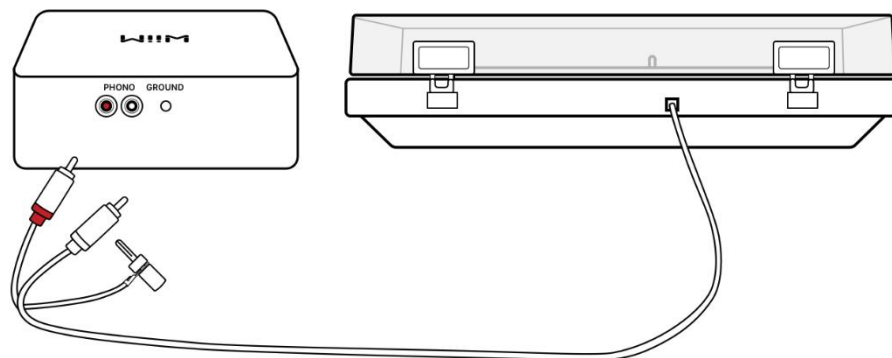
WiiM Ultra の**フォノ入力**ポートは、内蔵プリアンプがないターンテーブルに接続するために特別に設計されています。

ケーブル要求:

- ターンテーブル RCA ケーブルを使用します。
- ターンテーブルにグラウンドワイヤーがある場合、提供された PHONO グラウンドアダプターが必要です。

ケーブル接続手順

1. ケーブルの一端の赤と白の RCA コネクタを WiiM Ultra の対応する**フォノ入力**ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一端をターンテーブルの対応する出力ポートに接続します。
3. ターンテーブルにグラウンドワイヤーがある場合は、提供されたフォノグラウンドアダプターに接続し、アダプターを WiiM Ultra のグラウンドポートに差し込みます。



12V トリガーアウトの使用

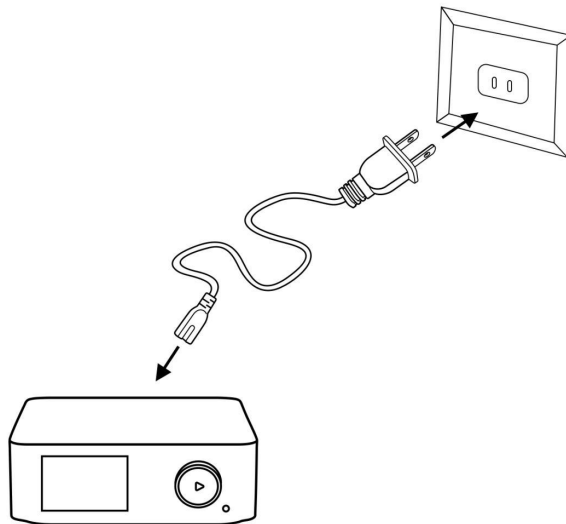
WiiM Ultra の **12V トリガーアウト**ポートを使用して、WiiM Ultra のステータスに基づいて外部オーディオ機器（アンプや DAC など）の電源を自動的にオンまたはオフにすることができます。

これを実現するには、WiiM Ultra の **12V トリガーアウト**ポートを互換性のあるケーブルを使用して外部オーディオ機器の **12V トリガーイン**ポートに接続します。

詳細については、[How to Use the 12V Trigger Out](#) を参照してください。

WiiM Ultra の電源を入れる

付属の電源アダプターを **Power Input** ポートに接続し、電源コンセントに差し込んでください。100～240V、50/60Hz の電圧範囲に対応し、最大 0.5A の電流をサポートします。これにより、デバイスが安全かつ効率的に動作します。



WiiM Home アプリのダウンロードとインストール

- iOS または Android デバイス用のアプリをダウンロードするには、以下の QR コードをスキャンしてください:



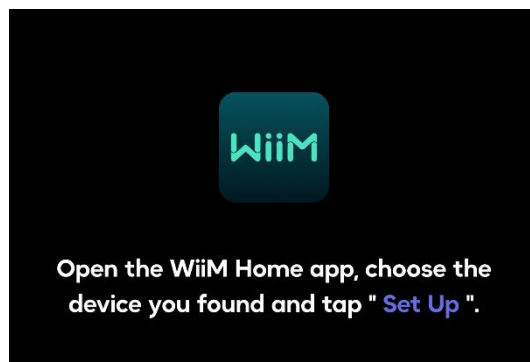
- ベータ版は Windows と Mac OS 用でも利用可能です。[こちら](#)からダウンロードできます。

WiiM Ultra を WiiM Home アプリで設定する

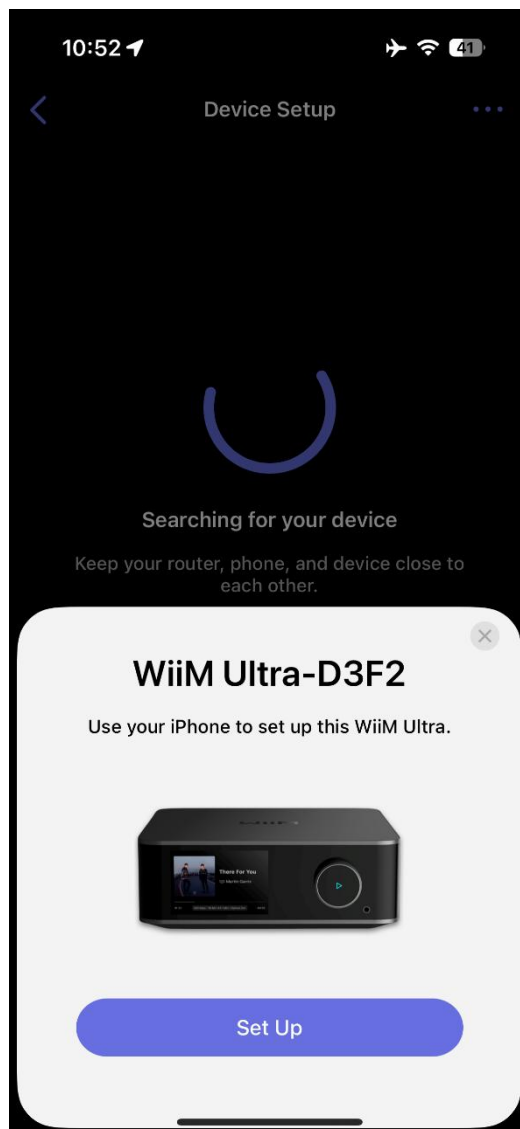
WiiM Ultra を使用する前に、Wi-Fi または Ethernet 経由で WiiM Home アプリを使用してセットアップする必要があります。Wi-Fi で接続する場合は、ネットワークパスワードを準備してください。これにより、スムーズで効率的なセットアッププロセスが確保されます。

WiiM Ultra の Wi-Fi 設定

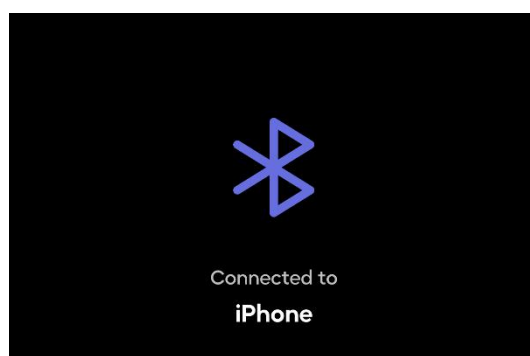
1. **Set Up** のプロンプトが WiiM Ultra の画面に表示されたら、スマートフォンまたはタブレットで WiiM Home アプリを開きます。



2. アプリ内に **Set Up** ポップアップが表示されたら、それをタップして設定を開始します。

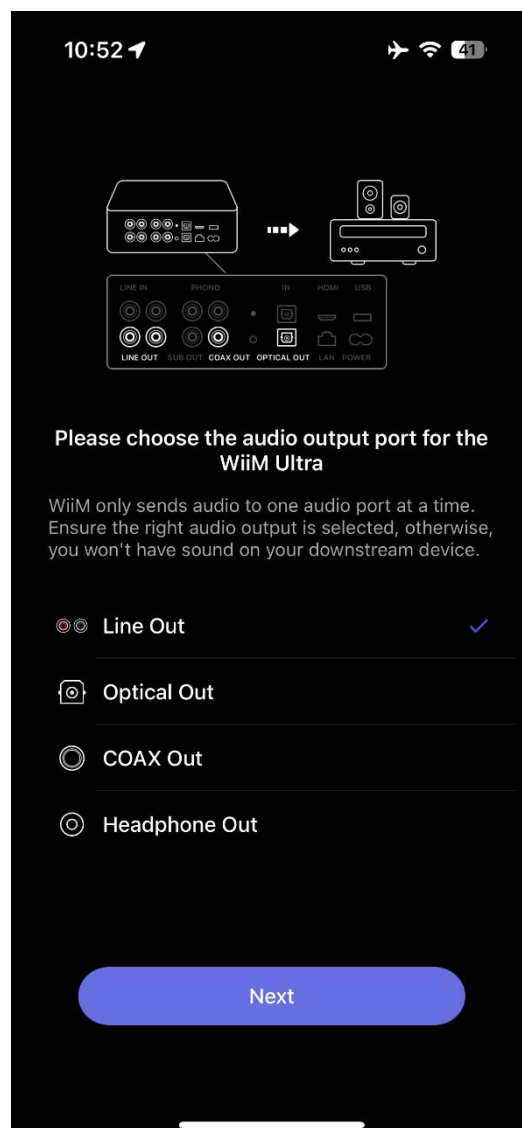


WiiM Ultra の画面に次のプロンプトが表示されます。

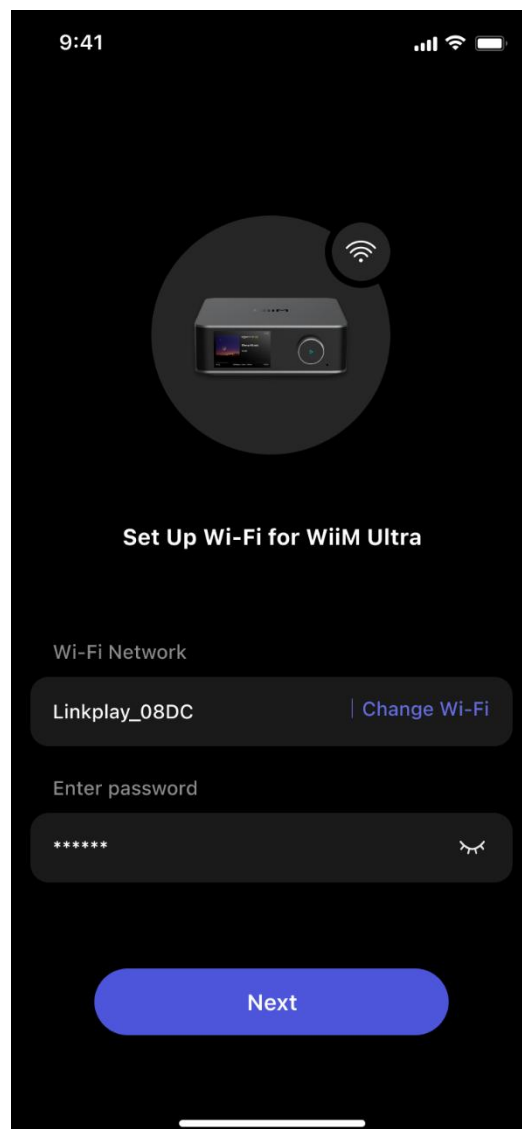


3. 画面上の指示に従ってセットアップを完了します:

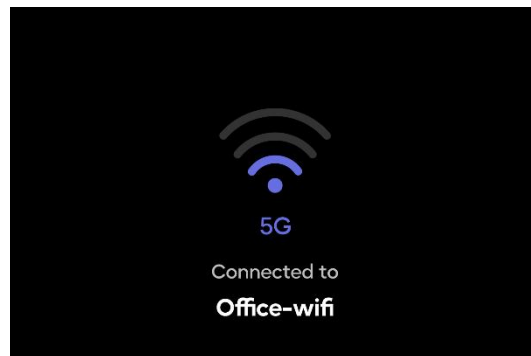
- a) [WiiM Ultra のオーディオ出力ポートの接続](#) に対応する適切なオーディオ出力インターフェースを選択します。



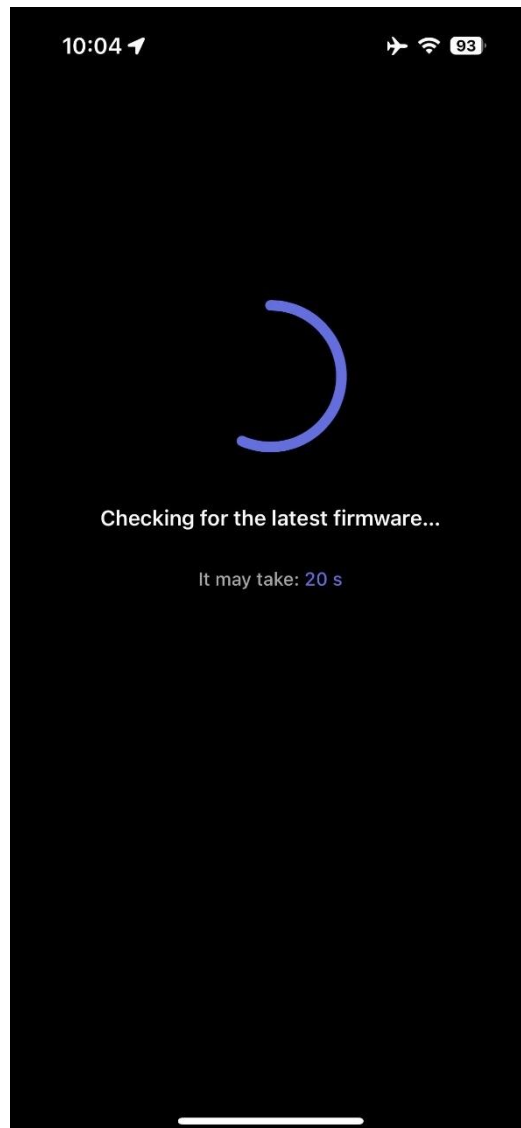
- b) WiiM Ultra を WiiM Home アプリと同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。



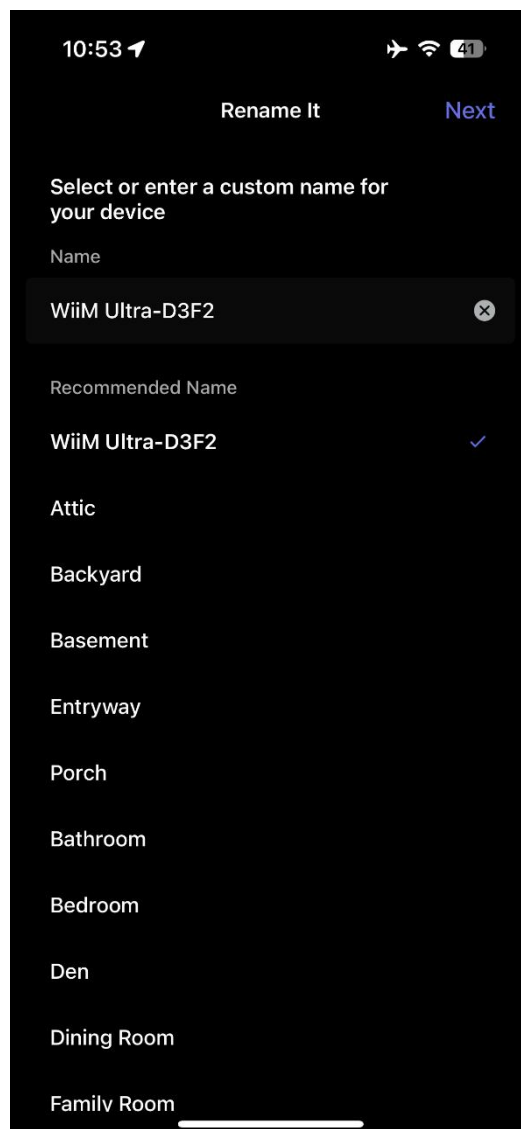
Wi-Fi ネットワークに正常に接続されると、WiiM Ultra の画面に次のプロンプトが表示されます。



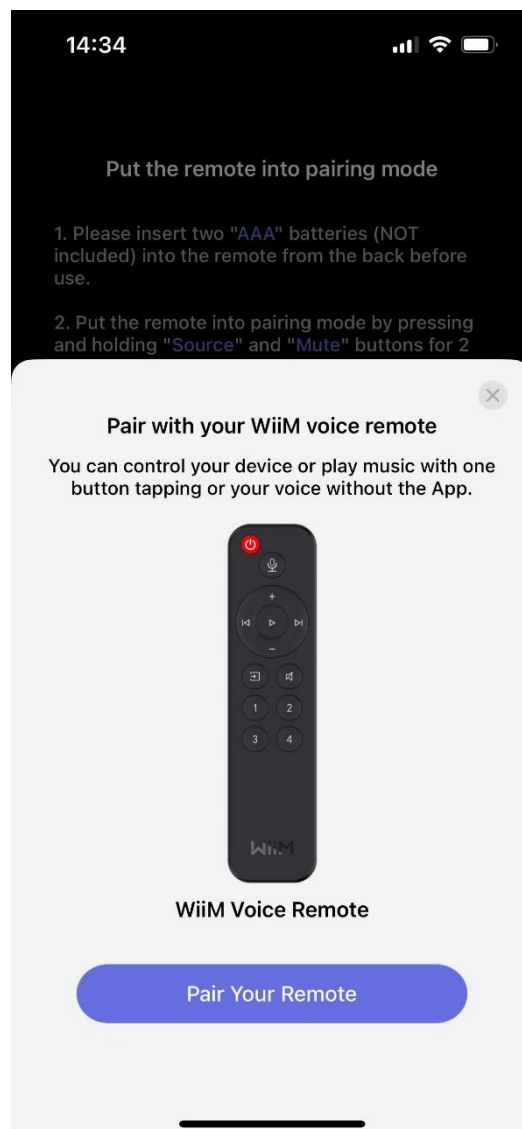
- c) WiiM Ultra のファームウェアを確認して更新します。



d) WiiM Ultra に名前を付けます。

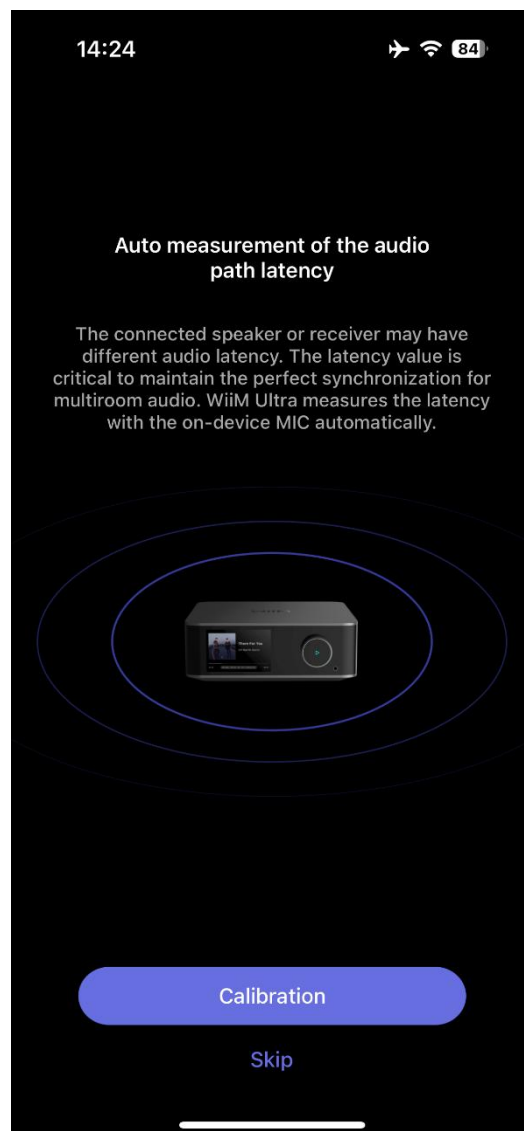


e) WiiM Ultra に WiiM Voice Remote を設定します。

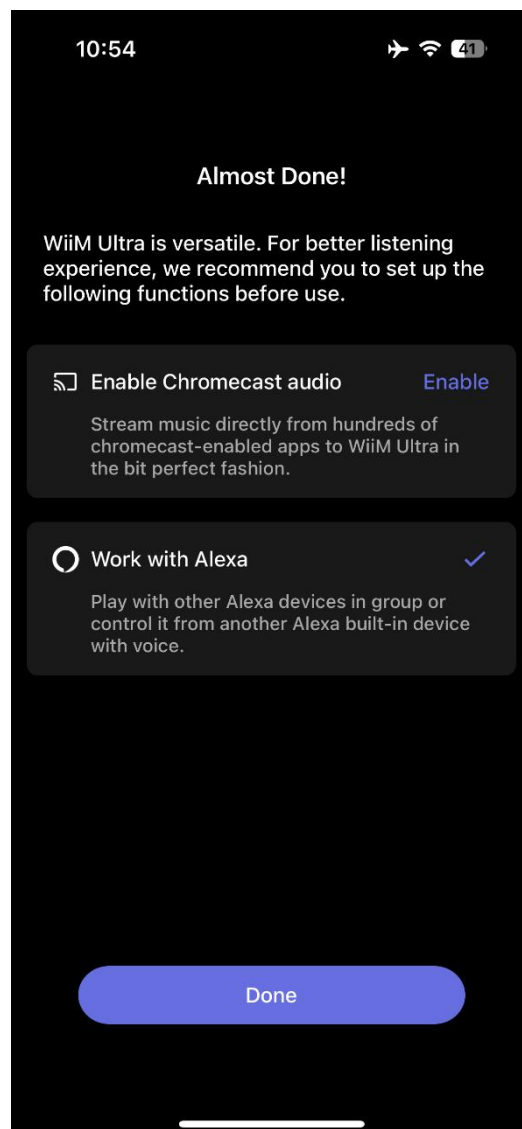


詳細な設定方法については、「[How to Set Up Your WiiM Voice Remote](#)」を参照してください。

- f) オーディオパスの遅延をキャリブレーションします。

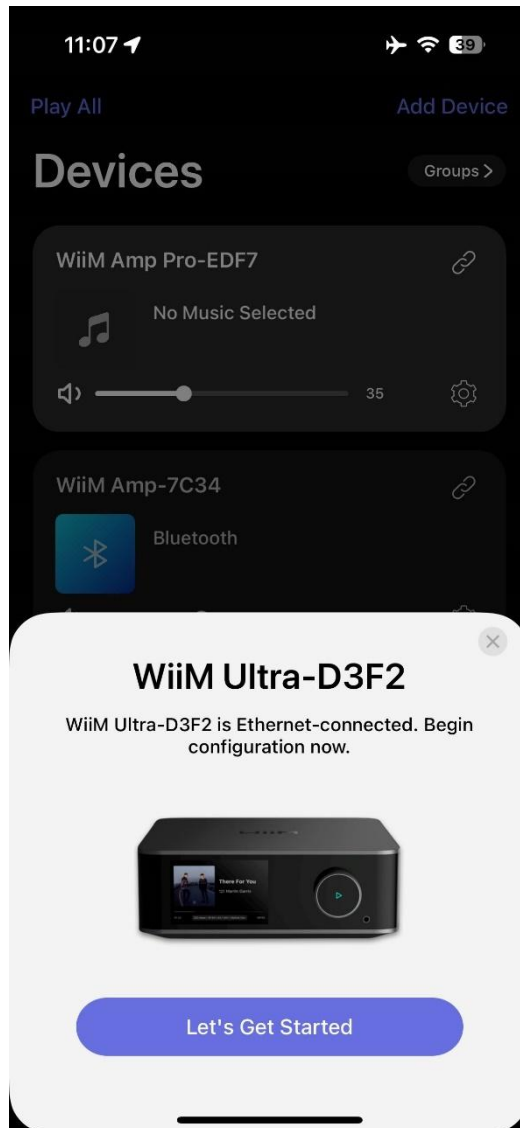


g) Google Cast と Amazon Alexa を設定します。



WiiM Ultra Setup via Ethernet

1. WiiM Ultra の Ethernet 経由での設定
2. スマートフォンまたはタブレットで WiiM Home アプリを開きます。
3. アプリに「**Let's Get Started**」のポップアップが表示されたら、それをタップして設定を開始します。



4. 画面上の指示に従ってセットアップを完了します。

WiiM Home アプリで WiiM Ultra を設定する

WiiM Ultra のセットアップが完了したら、WiiM Home アプリでオーディオ入力、オーディオ出力、サブウーファー、ルーム補正、EQ 調整などの設定を行います。

詳細な設定方法については、[WiiM Ultra 設定](#) をご参照ください。

お部屋に音楽を満たす

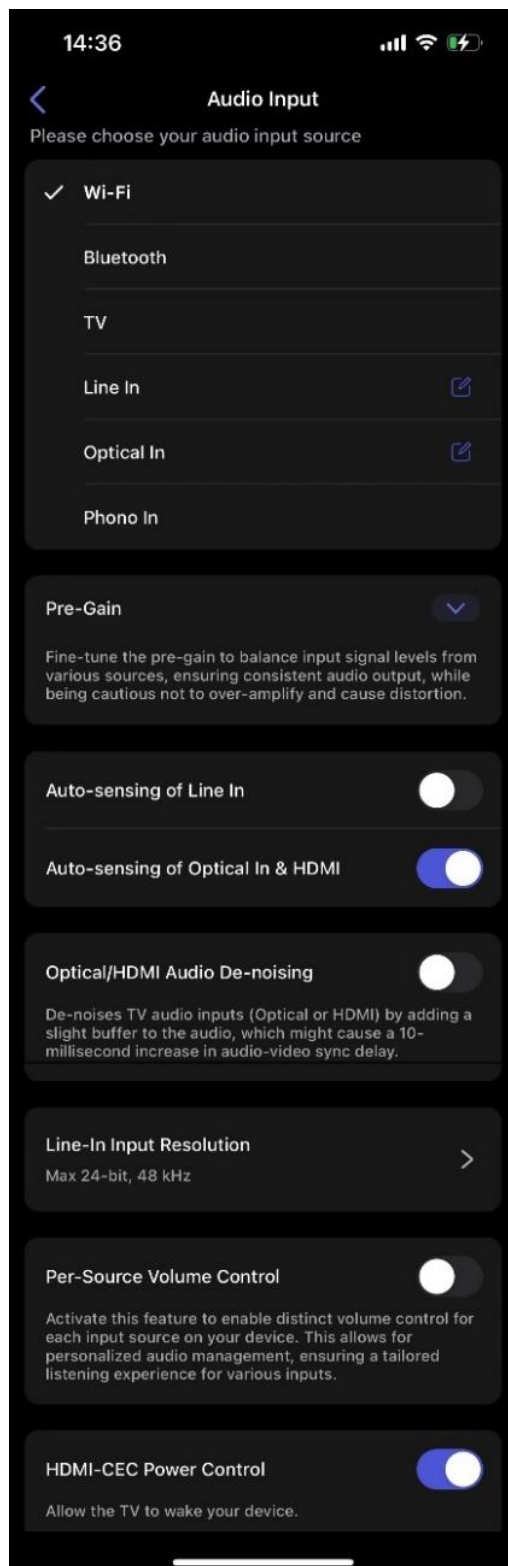
お好きなオーディオソース（アンプ付きターンテーブル、CD プレーヤー、MP3 プレーヤーなど）から音楽を再生してください。また、Wi-Fi や Bluetooth のシームレスなストリーミングでお気に入りの音楽やラジオ局に没頭することもできます。

複数の WiiM デバイスを接続して、お部屋全体で音楽を同期して楽しみましょう。Alexa 対応や Google Cast 対応デバイスをグループ化することで、シームレスなマルチルームオーディオセットアップを実現できます。詳細については、「[マルチルームおよびステレオペアリング](#)」をご参照ください。

6. WiiM Ultra 設定

オーディオ入力ソースの選択とオーディオ入力の設定

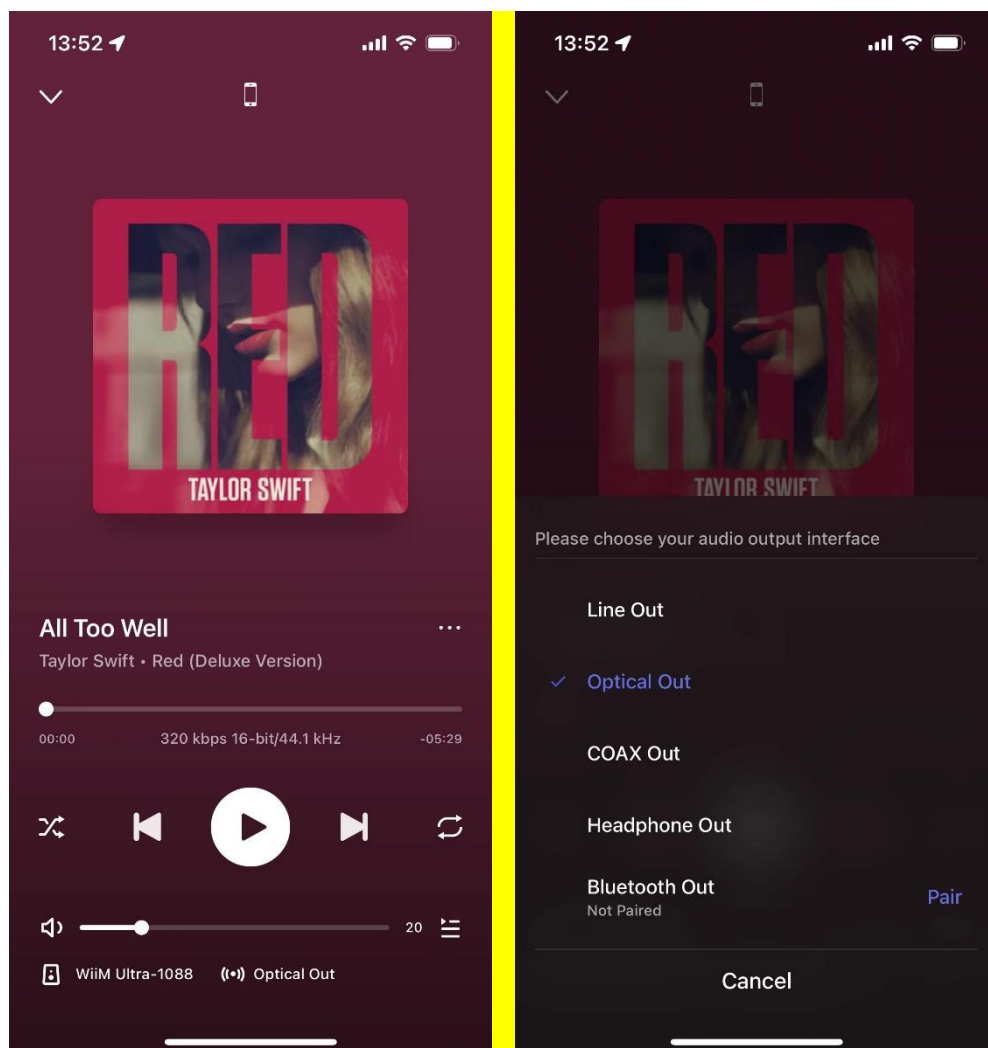
1. WiiM Home アプリを開きます。
2. 「デバイスタブ」に移動します。
3. WiiM Ultra の「デバイス設定」 アイコンをタップします。
4. 「サウンド」セクションで「オーディオ入力」を選択します。
5. 適切なオーディオ入力ソースを選択します。
6. 入力インターフェースに応じて、その他の設定を調整します：
 - ライン、光学入力、HDMI の自動検出
 - ソースごとのプレゲインおよび音量制御
 - 光学/HDMI オーディオのノイズ除去
 - ラインイン入力解像度
 - HDMI-CEC 電源制御



オーディオ出力インターフェースの選択

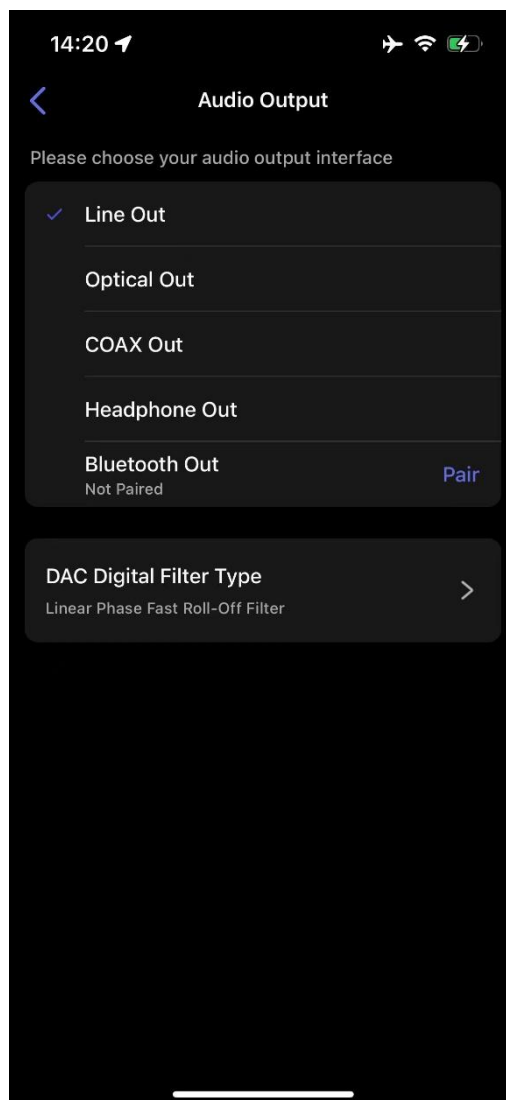
オプション 1: "Now Playing" からオーディオ出力インターフェースを選択

1. WiiM Home アプリを開きます。
2. "Now Playing" ページに移動します。
3. 下部のアイコンをタップし 、出力インターフェースを選択します。



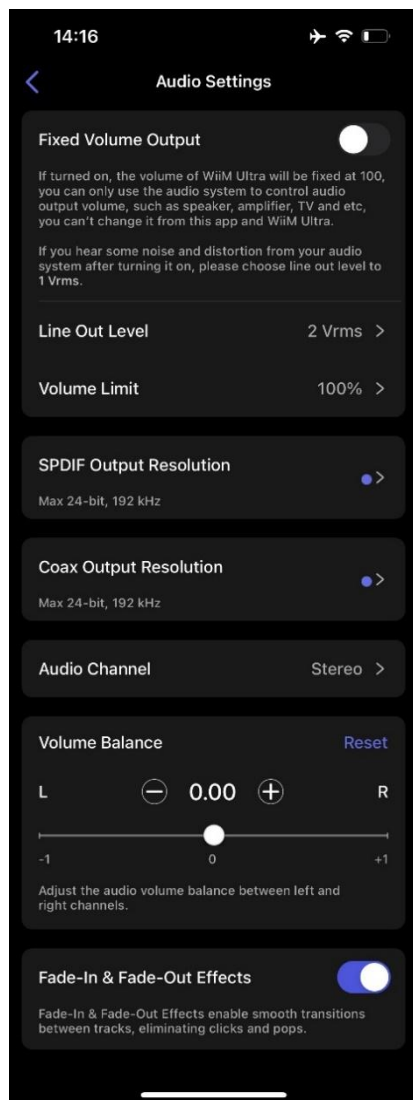
オプション 2: デバイス設定からオーディオ出力インターフェースを選択

1. WiiM Home アプリを開きます。
2. 「デバイスタブ」に移動します。
3. WiiM Ultra の「デバイス設定」 アイコンをタップします。
4. 「サウンド」セクションで「オーディオ出力」をタップします。
5. 適切な出力インターフェースを選択し、設定を調整します（例：ラインアウトの DCA フィルタータイプ、光学出力と COAX 出力のサンプルレートスイッチ遅延）。



オーディオ出力設定の調整

1. WiiM Home アプリを開きます。
2. 「デバイスタブ」に移動します。
3. WiiM Ultra の「デバイス設定」 アイコンをタップします。
4. 「サウンド」セクションで「オーディオ設定」を選択します。
5. オーディオ出力設定を好みに応じて調整します：
 - 固定音量出力
 - ラインアウトレベル
 - 音量制限
 - SPDIF 出力解像度およびコアクシャル出力解像度
 - オーディオチャンネル
 - 音量バランス
 - フェードインおよびフェードアウト効果



サブウーファー設定の調整

WiiM Ultra にサブウーファーを接続した場合、WiiM Home アプリの「**デバイス設定**」>「**サブウーファー**」からサブウーファー設定を有効にし、調整できます。これにより、サブウーファーがオーディオシステムとシームレスに連携し、最適な音質を提供します。

詳細な手順については、「[Tutorial: Tuning Subwoofer Settings on WiiM Devices for Optimal Sound Quality](#)」チュートリアルを参照してください。

ルーム補正

WiiM Home アプリの「ルーム補正」機能を使用すると、部屋のユニークな音響特性に合わせてオーディオ品質を向上させることができます。この機能は、エコーや反射、定常波などの不必要な音響問題を最小化し、よりバランスの取れた、正確なリスニング体験を提供します。

詳細な手順については、「[Room Correction Guide](#)」を参照してください。

イコライザー (EQ)

WiiM Home アプリの「Per-Source EQ」機能を使用して、オーディオ体験を強化できます。

24 種類のプリセット EQ 設定を選択して簡単に調整したり、10 バンドグラフィック EQ (GEQ) を使って直感的に操作したり、10 バンドパラメトリック EQ (PEQ) を使用して音を細かく調整できます。

詳細な手順については、「[EQ Guide](#)」を参照してください。

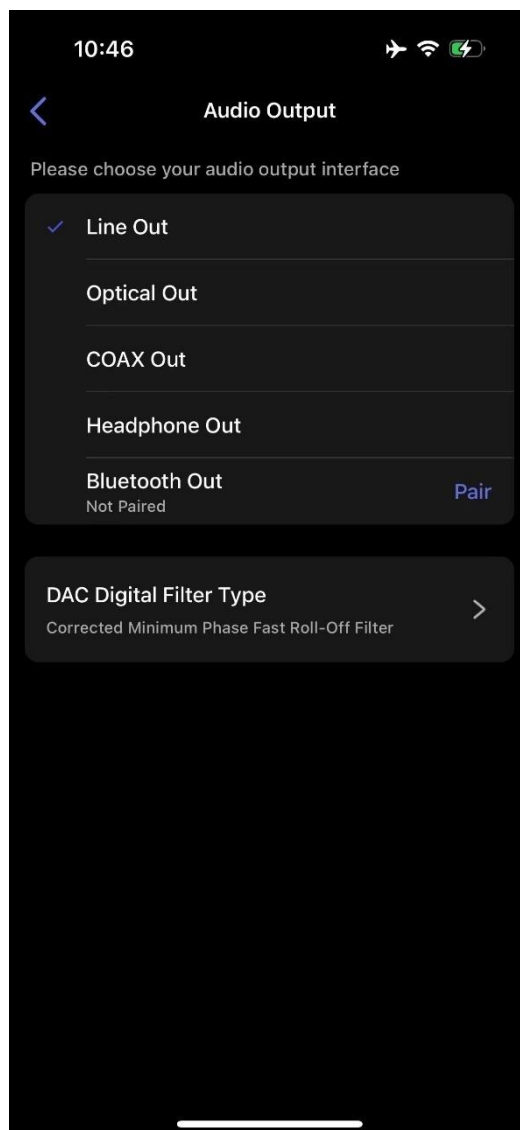
7. Bluetooth 経由のオーディオ出力/入力

Bluetooth 経由でのオーディオ出力

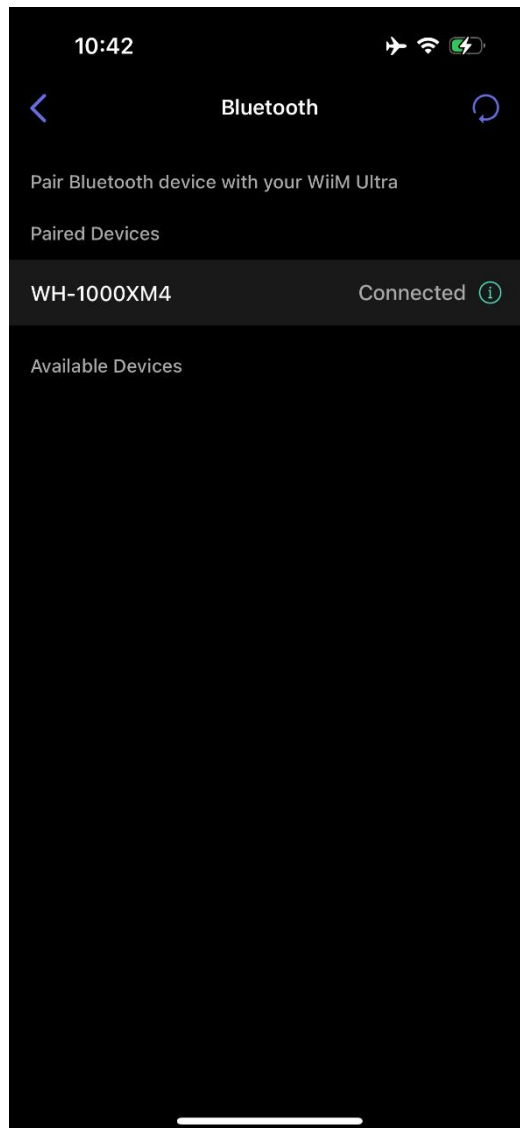
WiiM Ultra を Bluetooth ソースデバイスとして使用でき、Bluetooth スピーカー、ヘッドフォン、またはイヤフォンとのシームレスなペアリングが可能です。

オーディオ出力の Bluetooth ペアリング手順は、以下の通りです：

1. iOS または Android デバイスで WiiM Home アプリを開きます。
2. 「**デバイスタブ**」を選択します。
3. WiiM Ultra の「**デバイス設定**」アイコンをタップします。
4. 「**オーディオ出力**」を選択し、「**Bluetooth Out**」の横にある「**ペア**」をタップしてペアリングを開始します。



5. 希望する外部 Bluetooth 受信機（アンプやスピーカーなど）を選択します。



Bluetooth 経由でのオーディオ入力

Bluetooth を使用すると、スマートフォン、タブレット、テレビ、ラップトップなどのさまざまなデバイスから音楽をストリーミングできます。ストリーミングを開始するには、まずデバイスと WiiM Ultra をペアリングします。

以下のいずれかの方法でデバイスを WiiM Ultra とペアリングできます：

- **オプション 1: ボリュームノブを使用した Bluetooth ペアリング**

WiiM Ultra の**ボリュームノブ**を 3 秒以上長押しして、ペアリングモードを開始します。

- **オプション 2: WiiM Voice Remote を使用した Bluetooth ペアリング**

WiiM Voice Remote の再生ボタンを 3 秒以上長押しして、ペアリングモードを開始します。

- **オプション 3: WiiM Ultra の画面メニューを使用した Bluetooth ペアリング**

WiiM Ultra の画面で「**入力**」をタップし、「**Bluetooth**」を選択して、ペアリングモードを開始します。

- **オプション 4: WiiM Home アプリを使用した Bluetooth ペアリング**

WiiM Ultra がネットワークに接続されている場合、WiiM Home アプリで「**ブラウズ**」タブから「**Bluetooth**」を入力ソースとして選択することで、Bluetooth ペアリングモードを開始できます。

この場合、WiiM Ultra にデバイスが接続されていない場合、アプリが自動的にペアリングモードを開始します。

注: Bluetooth 機能は A2DP および AVRCP プロファイルに対応しており、SBC および AAC コーデックをサポートしています。

8. USB メディアライブラリ

WiiM Ultra の USB ポートを使用すると、接続された USB ドライブまたは HDD から直接音楽を再生できます。これにより、保存された音楽ライブラリへの便利なアクセスが可能になります。

詳細については、「[Building and Managing Your Advanced USB Media Library](#)」を参照してください。

9. 音声コントロール

WiiM Ultra を音声コマンドで操作し、音楽を検索、再生、停止、音声コントロールを使用する前に、音声コントロールが正しく設定されていることを確認してください。設定方法については、「[How to Use Amazon Alexa with Your WiiM Device](#) or [How to Control WiiM Device via Google Assistant](#)」または、

10. お気に入りのアプリから直接制御

以下の方法で、お気に入りのアプリから WiiM Ultra に直接ストリーミングできます。

Spotify Connect

Spotify Connect を使用すると、Bluetooth ペアリングの必要なしに Wi-Fi または Ethernet 経由で Spotify を WiiM Ultra にストリーミングできます。スマートフォン、タブレット、または PC をリモコンとして使用でき、無料アカウントとプレミアムアカウントの両方に対応しています。詳細については、[Spotify Connect](#) をご覧ください。

Spotify Connect を使用することで、WiiM Ultra で最高の音質とストリーミング体験が得られます。



マルチルームとステレオペアリング

Spotify Connect を使用してマルチルームやステレオペアリングを行うには、以下の手順を実行します：

1. WiiM Home アプリで複数の WiiM デバイスをグループ化します。詳細な手順については、「[WiiM マルチルーム/ステレオペアリング](#)」を参照してください。
2. グループ化したデバイスに Spotify をストリーミングします。グループ名は、グループのマスターデバイス名と一致します。

ライセンス情報

Spotify ソフトウェアは、サードパーティのライセンスの対象です。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

TIDAL Connect

TIDAL は、アーティストとのユニークな体験を提供し、最高の音質を提供するグローバルな音楽ストリーミングプラットフォームです。TIDAL アプリから、お気に入りの音楽を最高 192 kHz、24 ビットでシームレスにデバイスにストリーミングできます。

TIDAL Connect を使用すると、TIDAL アプリから対応するデバイスに音楽をストリーミングでき、Spotify Connect と似ています。スマートフォンや PC を使って WiiM デバイスで再生を制御できます。

TIDAL Connect の使用方法:

1. モバイルデバイスで TIDAL アプリを起動します。
2. 曲を再生し、**Now Playing** 画面に移動します。
3. 画面右上の**キャスト**アイコンをタップします。
4. リストから WiiM デバイスを選択します。

Amazon Music Cast (Alexa Cast)

Alexa Cast を使用すると、iOS または Android の Amazon Music アプリから、任意の Alexa デバイスで音楽を再生・制御できます。アプリから、Wi-Fi ネットワークに関係なく任意の Alexa デバイスを検索してターゲットにし、選択したデバイスで音楽を再生することができます。アプリはリモコンとして機能し、音楽を追跡したり、トラックをスキップしたりできます。

WiiM Ultra と Alexa Cast

WiiM Ultra は、最大 192kHz/24 ビットのビットパーフェクト出力をサポートしており、Amazon Music Ultra HD の最高音質を提供します。

Alexa Cast の使用方法

1. **ログイン:** WiiM Home アプリで、Alexa 用 Amazon アカウントにログインしていることを確認します。
2. **アップデート:** Amazon Music アプリの最新バージョンをインストールします。
3. **音楽をキャスト:** **Now Playing** 画面で、右上の**キャスト**アイコンをタップします。
4. **デバイスを選択:** リストから Alexa デバイスを選択します。

制御オプション

- **音声制御:** 音声コマンドを使用してデバイスで音楽を制御します。
- **アプリ制御:** 音声制御とアプリ制御を切り替えて便利に使用できます。
- **キャスト停止:** キャストを停止し、電話で再生を再開するには、デバイスリストを開き、切断ボタンをタップします。

Amazon Alexa マルチルームオーディオ

Amazon Alexa はマルチルームオーディオにも使用でき、Amazon Alexa アプリを使用して、WiiM Ultra と互換性のある複数のスピーカーで音楽を同期再生できます。

詳細な手順については、「[Amazon Alexa マルチルーム](#)」を参照してください。

Google Cast オーディオ

Google Cast オーディオを使用すると、モバイルデバイスの Google Cast 対応アプリから Wi-Fi または Ethernet 経由でスピーカーにお気に入りの音楽、ラジオ、ポッドキャストを即座にストリーミングできます。

Google Cast の設定方法

1. **Google Cast を有効にする:**

- WiiM Ultra を設定した後、WiiM Home アプリで Google Cast を有効にします。

2. **音楽をストリーミング:**

- スマートフォンやタブレットで対応アプリ（Spotify、Apple Music、TIDAL、Amazon Music、YouTube Music、Deezer など）を開き、**キャスト**ボタンをタップします。
- WiiM Ultra を選択し、音声のストリーミングを開始します。

3. **Chrome ブラウザを使用:**

- Chrome ブラウザからオーディオをキャストするには、メニューの**キャスト**オプションを選択します。

Google Cast マルチルームオーディオ

Google Cast はマルチルームオーディオにも使用でき、Google Home アプリを使用して、WiiM Ultra と互換性のある複数のスピーカーで音楽を同期再生できます。

詳細な手順については、「[Google Cast オーディオデバイスとのマルチルーム](#)」を参照してください。

DLNA

DLNA（Digital Living Network Alliance）は、家庭内ネットワーク機器がシームレスに通信し、メディアファイルを共有するための標準を設定します。WiiM Ultra は、DLNA 互換のデジタルメディアレンドラー（DMR）です。USB ドライブを WiiM Ultra に接続すると、それはデジタルメディアサーバー（DMS）としても機能し、DLNA 対応のクライアントがドライブに保存された音楽にアクセスできるようになります。

動作方法

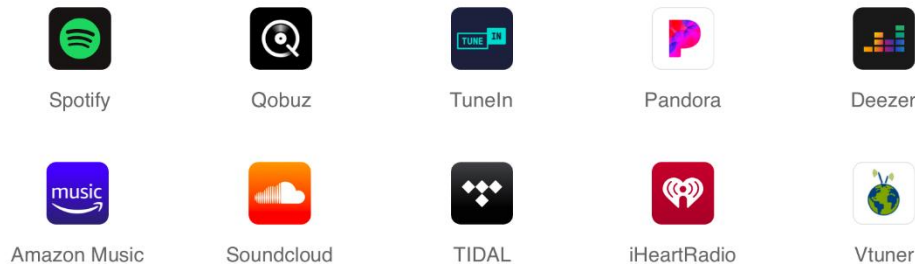
WiiM Ultra は、他の DLNA 対応デバイスやアプリと同じネットワークに接続されると、自動的にこれらのネットワーク機器のメニューに表示されます。コンピューターや他のメディアデバイスは、追加設定なしで WiiM Ultra を検出し、認識します。

制御とストリーミング

他の DLNA デジタルメディアプレーヤーやコントローラーから WiiM Ultra を制御できます。さらに、DLNA デジタルメディアサーバーからコンテンツを直接 WiiM Ultra にストリーミングすることができます。追加の設定は必要ありません。

11. すべての音楽を 1 つのアプリで

無料の WiiM Home アプリを使用すると、1 つの場所でコンテンツと WiiM デバイスを管理できます。このアプリは、Spotify、iHeartRadio、TIDAL、Amazon Music、SoundCloud、Qobuz、Pandora、Deezer、TuneIn など、人気の音楽ストリーミングサービスに対応しています。



WiiM Home アプリの主な機能:

- **あらゆるソースからストリーミング:** ストリーミングサービス、NAS、または他の接続されたストレージからシームレスに再生を楽しめます。
- **オールインワン制御:** 1 つのアプリで音楽サービスとデバイスを簡単に管理し、完全な集中管理が可能です。
- **カスタマイズされたリスニング体験:** 調整可能な EQ 設定、スリープタイマー、予定された音楽アラームでリスニング体験を自分好みに調整できます。
- **簡単な発見:** WiiM のユニバーサル検索を使って、すべての音楽ソースをスキャンし、お気に入りのトラックを即座に見つけて保存できます。
- **家全体の音楽:** デバイスをグループ化して音楽を同期して再生したり、各スピーカーで異なる音楽を再生したりできます。
- **ビルトインサポートセンターへのアクセス:** アプリ内でサポートセンターに迅速にアクセスし、必要なときに即時のサポートを受けることができます。

詳細については、[WiiM Home App User Manual](#) を参照してください。

12. マルチルームおよびステレオペアリング

WiiM Ultra を使用すると、Amazon Echo（または Alexa 対応デバイス）や Google Home を使用して、ワイヤレスのマルチルームサウンドシステムを簡単に構築できます。また、複数の WiiM デバイスを使用して、既存のオーディオ機器のためのさらに柔軟なマルチルームサウンドシステムを作成できます。

注意:

- **Alexa および Google Cast のマルチルーム機能は、ネットワークベースの音楽サービスのみをサポートします。**
- **Line-In、Optical-In、HDMI、または Bluetooth などの他の入力ソースでマルチルームオーディオを有効にするには、マルチルームグループは WiiM デバイスのみで構成する必要があります。**

WiiM マルチルーム/ステレオペアリング

WiiM Ultra は、当社独自のマルチルーム技術を使用して、すべての種類のオーディオ入力をサポートします—Wi-Fi/Ethernet、Bluetooth、アナログ Line In、Phono In、デジタル Optical In、HDMI ARC など—これらはすべてマルチルームシステムのソースとして使用できます。

WiiM マルチルームセットアップ

例えば、**Line In** ソース入力を使用したマルチルームシステムをセットアップするには、以下の手順を実行します:

1. WiiM Ultra の **Line In** ポートにラインケーブルを挿入します。
2. ケーブルの反対端をソースデバイス（例えばレコードプレーヤー）の **Line Out** ポートに接続します。
3. WiiM Home アプリを開きます。
4. **Browse タブ**に移動し、**Source Input** セクションで **Line In** をオーディオソースとして選択します。

5. WiiM Ultra でマルチルーム音楽グループをセットアップします:

- a) **Device タブ**に移動し、ソースデバイスに接続された WiiM Ultra を選択します。
- b) デバイスボックスの右上隅にある **Group**  **アイコン**をタップします。
- c) マルチルームオーディオグループに追加したい他の WiiM デバイスを選択します。

これで、接続されたデバイスからの音楽がマルチルーム音楽グループ全体で再生されます。
ソースデバイスでサポートされている他の入力ソースを使用して、同じ手順を繰り返すことができます。



WiiM ステレオペアリング

さらに、WiiM デバイスに接続された 2 台のスピーカーをステレオペアとしてグループ化し、広範囲で没入感のあるサウンドステージを提供することができます。この機能はすべての入力オプションをサポートしており、ほとんどすべての音楽リスニングの好みに対応しています。

ステレオペアリングを使用するには、以下の手順に従ってください：

1. 2 台の WiiM デバイスを設定します。
2. WiiM Home アプリを開きます。
3. WiiM デバイスを選択し、右上隅にある **Group**  **アイコン** をタップします。
4. 他の WiiM デバイスを選択し、**Done** をタップします。
5. **アイコン**をタップし 、2 台の WiiM デバイスをそれぞれ **L** と **R** に設定します。

6. **Browse** タブ に移動し、再生する音楽を選択します。

Amazon Alexa マルチルーム

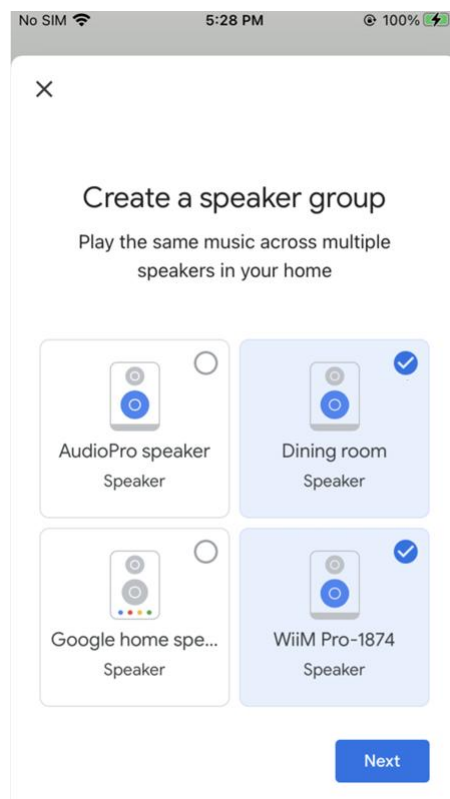
1. スマートフォンまたはタブレットで Amazon Alexa アプリを開きます。
2. 画面の下部にある **Devices** をタップします。
3. 画面右上隅にある **+ アイコン** をタップします。
4. 表示されるメニューで **Combine speakers** を選択し、次に **Multi-room music** を選択します。
5. マルチルーム音楽セットアップに含める Echo と WiiM デバイスを選択し、**Next** をタップします。
6. マルチルーム音楽セットアップのグループ名を設定します（例：「Bedroom」）。
7. 画面の指示に従ってセットアップを完了します。

注: Amazon Echo や他の Amazon デバイスで使用する場合、WiiM Ultra はオーディオ受信機として機能し、Wi-Fi 経由でこれらの Amazon デバイスに物理的なオーディオ入力（例：Line In や Optical In）を送信することはできません。

Google Cast オーディオデバイスとのマルチルーム

WiiM Ultra を他の Google Home や Google Cast 対応デバイスとグループ化して、すべてのデバイスで同じ音楽を再生することができます。

1. Google Home アプリを開きます。
2. 画面左上隅にある **+** アイコン をタップします。
3. **Create speaker group** をタップして、スピーカーグループを作成します。
4. 同じネットワークに接続されたデバイスを選択します。



5. グループに名前を付けます（例：「Living Room」）。
6. グループに音楽をストリーミングします。

注: Google Cast オーディオデバイスと使用する場合、WiiM Ultra はオーディオ受信機として機能し、これらの Google Cast オーディオデバイスに物理的なオーディオ入力（例：Line In や Optical In）を送信することはできません。

13. 高度な機能

ファームウェアの更新

- WiiM Ultra は、ネットワークに接続すると自動的に更新されます。
- 更新は、現地時間の午前 2 時から午前 5 時の間に静かに行われ、更新中に音や通知はありません。アップグレード後、アプリを開くと最新の更新内容が WiiM Ultra に適用されていることが確認できます。

Wi-Fi の代わりに Ethernet を使用する

Ethernet ケーブルを接続すると、WiiM Ultra は Wi-Fi を自動的にオフにして Ethernet ネットワークを使用します。

アクティブな接続を確認するには、以下の手順を実行します：

1. WiiM Home アプリを開きます。
2. **Device** タブに移動し、WiiM Ultra の **Device Settings**  アイコンをタップします。
3. **Network Status** を選択して、現在のネットワーク接続を確認します。

14. FAQ とサポート

FAQ

オーディオストリーマーに問題が発生した場合、まず以下の解決策を試してみてください：

- **Q: WiiM Home アプリがデバイスを見つけられない場合、どうすればよいですか？**
 - ネットワークが利用可能であり、デバイスが正しく電源が入っていることを確認してください。
 - デバイスの LED が白色で点灯しているか、WiiM Ultra の画面に何らかのメッセージが表示されているか確認してください。
 - スマートフォン/タブレットと WiiM Ultra が同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。
 - スマートフォン/タブレットに最新の WiiM Home アプリがインストールされていることを確認してください。
 - スマートフォン/タブレット、WiiM Ultra、ルーターを再起動してみてください。
 - それでも見つからない場合は、デバイスをネットワークに再設定してください。

- **Q: デバイ스에音が出ない場合、どうすればよいですか？**

音が出ない場合、以下の点を確認してください：

- 音量レベル: WiiM Home アプリと外部デバイス（例：AV レシーバー）の両方で音量が上がっていることを確認してください。
- 入力ソース: WiiM Ultra の出力に対応する正しい入力ソースが受信機やデバイスで選択されていることを確認してください。
- オーディオ出力の選択: WiiM Home アプリで正しいオーディオ出力が選択されていることを確認してください。
- 物理接続: WiiM Ultra と受信機やデバイスとの物理的な接続が正しく、安全に接続されていることを確認してください。

● **Q: ネットワークストリーミングで音が途切れるか音が出ない場合、どうすればよいですか？**

音が出ない場合は、音楽アプリや WiiM Home アプリの進行バーが動いているか確認してください。

- ネットワーク接続の確認: WiiM Ultra の信号が強いことを確認します。WiiM Ultra を無線ルーターやアクセスポイントの近くに移動して、信号強度を改善してください。
- ネットワーク機器の再起動: ルーター、モデム、WiiM Ultra を含むネットワーク機器を再起動すると、接続の問題が解決する場合があります。
- ファームウェアとソフトウェアの更新: WiiM Ultra とストリーミングに関与するすべてのデバイスに最新のファームウェアとソフトウェアの更新がインストールされていることを確認してください。
- WiiM Ultra のリセット: 最後の手段として、WiiM Ultra を工場出荷時の設定にリセットし、再設定することができます。

Q: デバイスをリセットするにはどうすればよいですか？

- 音量ノブを 10 秒間押し続けると、「Restore to factory setting（工場設定に戻す）」という音声プロンプトが聞こえ、赤と白の点滅ライトが表示されます。WiiM Ultra の画面にも「Restore to factory setting」と表示されます。
- 工場リセットにより、WiiM Ultra のすべてのソース、音量、ネットワーク設定がクリアされ、元の工場設定に戻ります。

● **Q: デバイスが正常に電源オンしない場合、どうすればよいですか？**

- デバイスの LED ステータスを確認し、点灯していることを確認してください。
- 元の電源アダプタが使用されていることを確認してください。

サポート

問題が解決できない場合は、以下の方法でサポートにご連絡ください:

- **WiiM Home アプリ:** 「More > Feedback」または「More > FAQ」に移動してチケットを送信してください。WiiM サポートから 24 時間以内にメールで返信が届きます。
- **FAQ ウェブサイト:** <https://faq.wiimhome.com/en/support/solutions> で FAQ を確認してください。
- **メール:** サポートが必要な場合は、support@wiimhome.com までメールを送信してください。
- **WiiM Ultra サポートウェブサイト:** <https://wiimhome.com/support/wiimUltra> にアクセスしてください。

15. 重要な安全指示

1. これらの指示をよく読んでください。
2. 今後の参照のためにこれらの指示を保管してください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ清掃してください。
7. 通気孔を塞がないようにしてください。製造元の指示に従って取り付けてください。
8. ラジエーター、熱交換機、ストーブ、またはその他の熱源（アンプを含む）の近くには取り付けないでください。
9. 電源コードが歩行や圧迫によって傷つかないように保護してください。特にプラグ、コンセント、またはコードが装置から出る点で注意してください。
10. 製造元が指定した付属品のみを使用してください。
11. 雷雨時や長時間使用しないときは、この装置の電源を抜いてください。
12. すべての修理は資格を持つ専門家に依頼してください。修理が必要な場合は、外部電源、電源コード、プラグが損傷している場合、液体がこぼれた場合、物が装置に落ちた場合、装置が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または装置が落下した場合です。
13. 火災や感電のリスクを減らすために、この製品を雨、液体、湿気にさらさないでください。
14. この製品を滴下や飛沫から保護し、液体が入った物（花瓶など）を製品の上または近くに置かないでください。
15. この製品を火や熱源から遠ざけてください。裸火源（ろうそくなど）を製品の近くに置かないでください。
16. この製品を無断で改造しないでください。
17. 車両やボートで使用しないでください。
18. 製造元が提供した電源のみを使用してください。

19. メインプラグまたは機器カブラが切断装置として使用されている場合、その切断装置は常に操作可能でなければなりません。
20. 通気の要件により、製品を壁の隙間や閉鎖的なキャビネット内に配置することはお勧めしません。
21. 小さな部品が含まれており、誤飲の危険があります。3 歳未満の子供には適していません。
22. この製品には磁気材料が含まれています。インプラント型医療機器に影響を与える可能性がある場合は、医師に相談してください。
23. 製品やブラケットを、暖炉、ラジエーター、熱交換機、または他の熱源（アンプを含む）の近くに設置しないでください。

16. CE/FCC/IC/TELEC 声明

FCC/IC Statement:

RF Exposure Information: The equipment complies with FCC/IC RSS-102 radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. The equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and contains license-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE: The manufacturer is not responsible for any radio or TV interference caused by unauthorized modifications or changes to this equipment. Such modifications or changes could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For radio equipment operates in 5150-5850MHz

High power radars are allocated as primary users of the 5.25 to 5.35 GHz and 5.65 to 5.85 GHz bands. These radar stations can cause interference with and/or damage to LE LAN (Licence-Exempt Local Area Network) devices. No configuration controls are provided for this wireless equipment allowing any change in the frequency of operations outside the FCC grant of authorization for US operation according to Part 15.407 of the FCC rules.

The device for operation in the band 5150-5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems; for devices with detachable antenna(s), the maximum antenna gain permitted for devices in the bands 5250-5350 MHz and 5470-5725 MHz shall be such that the equipment still complies with the e.i.r.p. limit; for devices with detachable antenna(s), the maximum antenna gain permitted for devices in the band 5725-5850 MHz shall be such that the equipment still complies with the e.i.r.p. limits specified for point-to-point and non-point-to-point operation as appropriate.

Transmitters in the 5.925-7.125 GHz band are prohibited from operating to control or communicate with unmanned aircraft systems.

Énoncé d'exposition aux rayonnements FCC/IC

L'équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements FCC/IC RSS-102 établies pour un environnement non contrôlé. L'équipement doit être installé et utilisé avec une distance minimale de 20cm entre le radiateur et votre corps.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Les radars de puissance élevée sont attribués comme utilisateurs principaux des fréquences de 5,25 à 5,35 GHz et Bandes de 5,65 à 5,85 GHz. Ces stations radar peuvent causer des interférences avec Et/ou dommages aux périphériques LE LAN (réseau Local exempté de licence). Non non Des contrôles de configuration sont fournis pour cet équipement sans fil permettant toute Modification de la fréquence des opérations en dehors du FCC octroi d'autorisation Pour les opérations américaines conformément à la partie 15.407 des règles de la FCC.

Les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5250 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux; le gain maximal d'antenne permis pour les dispositifs utilisant les bandes 5250-5350 MHz et 5470-5725 MHz doit se conformer à la limite de p.i.r.e.; le gain maximal d'antenne permis (pour les dispositifs utilisant la bande 5725-5850 MHz) doit se conformer à la limite de p.i.r.e. spécifiée pour l'exploitation point à point et non point à point, selon le cas.

Il est interdit d'utiliser les émetteurs de la bande de 5,925 à 7,125 GHz pour contrôler les systèmes d'aéronef sans pilote ou communiquer avec eux.

CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

IC: 30828-ASR004

FCC ID: 2BABF-ASR004

CE Statement:

RF exposure information: The Maximum Permissible Exposure (MPE) level has been calculated based on a distance of $d=20$ cm between the device and the human body. To maintain compliance with RF exposure requirement, use product that maintain a 20cm distance between the device and the human body.

Do not use the device in the environment at too high or too low temperature, never expose the device under strong sunshine or too wet environment.

The suitable temperature for the product and accessories is 0°C-40°C.

Operating frequency range and maximum transmit power

Bluetooth: 2402MHz ~ 2480MHz, <10.0 dBm(EIRP)

WLAN 2.4GHz: 2412MHz ~ 2472MHz, <20 dBm(EIRP)

WLAN 5GHz: 5150MHz ~ 5825MHz, <20 dBm(EIRP)

WLAN 6GHz: 5955MHz ~ 6415MHz, <20 dBm(EIRP)

The device for operation in the band 5150-5350 MHz and 5955-6415MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems.

	AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
	EE	EL	ES	FI	FR	HR	HU	IE
	IS	IT	LI	LT	LU	LV	MT	NL
	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR	UK(NI)
	UK							

This product can be used across EU member states.

EU Regulatory Conformance

Hereby, Linkplay Technology Inc. Corporation declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU.

For the declaration of conformity, visit the Web site
<https://www.wiimhome.com/certificaton>.

**TELEC Statements**

According to radio law, the 5.2/5.3/6GHz band is limited to indoor use.

電波法により 5.2/5.3/6 GHz 帯は屋内使用に限ります。